

ZŪMO® 396

操作マニュアル

© 2018 Garmin Ltd. or its subsidiaries

無断転載禁ず。著作権法により、Garmin 社の書面による承認なしに、本マニュアルの全体または一部をコピーすることはできません。Garmin 社は、ユーザーや組織に通知する責任を負うことなく本マニュアルの内容を変更または改善したり、内容を変更する権利を有します。本製品の使用に関する最新情報および補足情報については、www.garmin.com を参照してください。

Garmin®、および Garmin ロゴは、Garmin Ltd. とその子会社の米国およびその他の国における登録商標です。zūmo®、Garmin Express™、および TracBack® は、Garmin Ltd. とその子会社の商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

Android™ は Google Inc. の商標です。Bluetooth® ワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc. の所有であり、Garmin はライセンスに基づきこの名前を使用しています。Foursquare® は、Foursquare Labs, Inc. の米国およびその他の国における商標です。microSD® は SD-3C の商標です。Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Mac® は Apple Computer, Inc. の商標です。Pandora のロゴは Pandora Media, Inc. の商標です。Pandora は特定の地域でのみ利用できます。詳細については、<http://www.pandora.com/legal> を参照してください。TripAdvisor® は TripAdvisor LLC の登録商標です。Windows®、Windows Vista®、および Windows XP® は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance の登録商標です。

目次

取り付け.....	1	カテゴリを入力して位置を検索する.....	8
自動二輪へのデバイスの取り付け.....	1	カテゴリ内を検索する.....	8
電源付きモーターサイクルマウント.....	1	場所内のジャンル別施設にナビゲーションする.....	9
ハンドルバーベースの取り付け.....	1	場所検索の結果.....	9
自動二輪マウントへ電源ケーブルを接続する.....	1	地図上の場所検索結果.....	9
自動二輪マウントにベースプレートを取り付ける.....	2	検索エリアを変更する.....	9
ハンドルバーベースにベースプレートを取り付ける.....	2	駐車場.....	9
デバイスをモーターサイクルマウントに取り付ける.....	2	現在の場所近くの駐車場を検索する.....	9
デバイスを自動二輪マウントから取り外す.....	2	指定した場所近くの駐車場を検索する.....	9
自動車にデバイスを取り付ける.....	2	駐車場の色分けと記号について.....	10
はじめに.....	3	検索ツール.....	10
デバイスの概要.....	3	住所を検索する.....	10
デバイスの電源をオンまたはオフにする.....	3	交差点を検索する.....	10
GPS 信号を捕捉する.....	3	都市を検索する.....	10
ステータスバーアイコン.....	3	座標を使用して位置を検索する.....	10
オンスクリーンボタンを使用する.....	3	Foursquare.....	10
音量を調整する.....	3	Foursquare アカウントに接続する.....	10
オーディオミキサーを使用する.....	3	Foursquare のジャンル別施設を検索する.....	10
画面の輝度を調整する.....	3	Foursquare の場所の詳細を表示する.....	10
運転者への注意喚起の機能とアラート.....	4	Foursquare によるチェックイン.....	10
運転者アラートを有効または無効にする.....	4	TripAdvisor®.....	10
赤信号カメラとスピードカメラ.....	4	TripAdvisor ジャンル別施設 (POI) を検索する.....	10
事故検知と通知.....	4	最近検索した位置を表示する.....	10
事故連絡先の設定.....	4	最近検索した場所のリストを消去する.....	10
事故通知のキャンセル.....	4	現在地情報を表示する.....	10
事故通知の無効化.....	5	緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する.....	10
ヘルメット着用に関する通知文の表示.....	5	現在地への道順を表示する.....	11
ヘルメットに関する法律を検索する.....	5	ショートカットを追加する.....	11
目的地へのナビゲーション.....	5	ショートカットを削除する.....	11
ルート.....	5	位置を保存する.....	11
ナビゲーションを開始する.....	5	位置を保存する.....	11
ルート探索方法を変更する.....	5	現在地を保存する.....	11
アドベンチャールートを使用してルートを選択する.....	5	保存した位置を編集する.....	11
地図を使用してナビゲーションを開始する.....	5	保存した位置にカテゴリを割り当てる.....	11
帰宅する.....	5	保存した位置を削除する.....	11
地図上のルート.....	5	地図を使用する.....	11
アクティブ車線案内.....	6	地図ツール.....	11
方向転換と方向指示を表示する.....	6	地図ツールを表示する.....	12
地図にルート全体を表示する.....	6	地図ツールを有効にする.....	12
目的地に到着する.....	6	この先.....	12
目的地の近くの駐車場.....	6	この先の場所を表示する.....	12
最後に駐車した場所を検索する.....	6	[この先] カテゴリをカスタマイズする.....	12
アクティブルートを変更する.....	6	トリップ情報.....	12
ルートに場所を追加する.....	6	地図からトリップデータを表示する.....	12
ルートを形成する.....	6	トリップ情報ページを表示する.....	12
迂回路を検索する.....	7	軌跡ログを表示する.....	12
ナビゲーションを停止する.....	7	トリップ情報をリセットする.....	12
推奨ルートを利用する.....	7	進行方向の交通事故を表示する.....	12
遅延、有料道路、およびエリアを回避する.....	7	地図上に交通渋滞情報を表示する.....	12
ルート上の交通遅延を回避する.....	7	交通事故情報を検索する.....	12
有料道路を回避する.....	7	地図をカスタマイズする.....	12
有料ステッカーを回避する.....	7	地図レイヤーをカスタマイズする.....	12
道路の回避機能.....	7	地図データフィールドを変更する.....	13
カスタム回避.....	7	地図表示方法を変更する.....	13
直行ルートをナビゲーションする.....	7	ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能.....	13
燃料の記録.....	8	電話とのペアリングと Smartphone Link への接続を行う.....	13
燃料計を有効にする.....	8	Bluetooth 機能のステータスアイコン.....	13
ガソリン残量アラームの設定.....	8	Garmin ライブサービス.....	13
燃料タンクの燃費をリセットする.....	8	Garmin ライブサービスに申し込む.....	13
燃料給油案内を有効にする.....	8	電話とヘッドセットのペアリング.....	13
位置の検索と保存を行う.....	8	スマートフォンからデバイスに位置を送信する.....	14
ジャンル別施設.....	8	スマート通知.....	14
検索バーを使用して位置を検索する.....	8	通知を受信する.....	14
		通知のリストを表示する.....	14
		ハンズフリー通話.....	14

電話をかける	15	計算モードの設定	20
電話を受ける	15	シミュレートされた場所を設定する	21
通話履歴を使用する	15	Bluetooth 設定	21
通話中オプションを使用する	15	Wi-Fi®設定	21
自宅の電話番号を保存する	15	運転者支援の設定	21
Apple デバイス用に Bluetooth 機能をセットアップする	15	ディスプレイ設定	21
Apple デバイスの Smartphone Link アプリに接続する	15	トラフィック設定	21
Apple デバイスのハンズフリー通話を無効にする	15	単位および時間設定	21
Apple デバイスの Smartphone Link のデータとスマート通知を無効にする	15	時間を設定する	21
Android™が搭載されたスマートフォンの Bluetooth 機能をセットアップする	16	言語およびキーボード設定	21
Android スマートフォンの Smartphone Link アプリに接続する	16	デバイスおよびプライバシー設定	21
Android が搭載されたスマートフォンの Bluetooth 機能を無効にする	16	設定を初期化する	21
Bluetooth デバイスの取り外し	16	デバイス情報	22
ペアリングした電話を削除する	16	規制およびコンプライアンス情報の表示	22
トラフィック	16	仕様	22
Smartphone Link を使用してトラフィックデータを受信する	16	デバイスを充電する	22
トラフィックレシーバーを使用してトラフィックデータを受信する	16	デバイスのメンテナンス	22
トラフィックレシーバーサブスクリプション	16	Garmin サポートセンター	22
トラフィックを有効にする	17	地図やソフトウェアの更新	22
地図上に交通渋滞情報を表示する	17	Wi-Fi ネットワークへの接続	22
交通事故情報を検索する	17	Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新	22
アプリケーションを使用する	17	製品の更新	22
デバイスのマニュアルの表示	17	デバイスのお手入れ	23
トリッププランナー	17	外側ケースのクリーニング	23
トリップを計画する	17	タッチスクリーンのクリーニング	23
トリップの場所を編集および並べ替える	17	盗難防止	23
トリップの経路にあるアトラクションの発見	17	デバイスをリセットする	23
トリップのルート探索オプションを変更する	17	デバイス、マウント、吸着カップを取り外す	23
保存されているトリップをナビゲーションする	17	マウントからデバイスを取り外す	23
アクティブルートを編集および保存する	18	吸着カップからマウントを取り外す	23
ルートを共有する	18	フロントガラスから吸着カップを取り外す	24
LiveTrack	18	車両電源ケーブルのヒューズを交換する	24
LiveTrack で共有をセットアップして視聴者を招待する	18	トラブルシューティング	24
LiveTrack 共有の開始	18	吸盤がフロントガラスに取り付けられない	24
トラック	18	デバイスで衛星信号を受信できない	24
トラック情報を表示 / 保存する	18	デバイスを車両で充電できない	24
メディアプレイヤー	18	充電しても電池の電力が長持ちしない	24
マップにメディアプレイヤーツールを追加する	18	デバイスが電話または Smartphone Link に接続されません	24
メディアソースを変更する	19	使用しているデバイスが、コンピュータのリムーバブルデバイスとして表示されません	24
Pandora サービス	19	使用しているデバイスが、コンピュータのポータブルデバイスとして表示されません	24
コンパスを使用する	19	使用しているデバイスは、コンピュータのポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、ポリュームのいずれとしても表示されません	24
TracBack®	19	Smartphone Link アプリは、スマートフォンのバッテリー充電レベルに影響を及ぼします。	24
最近のトラックを辿る	19	付録	25
最近のトラックをトリップとして保存する	19	地図およびデータ用のメモリカードを挿入する	25
天気予報を表示する	19	データ管理	25
別の都市周辺の天気を表示する	19	メモリーカードについて	25
気象観測レーダーを表示する	19	デバイスをコンピュータに接続する	25
気象警報を表示する	19	コンピュータからデータを転送する	25
道路状況を確認する	19	USB ケーブルを取り外す	25
往復のルートを作成する	19	GPS 信号ステータスを表示する	25
photoLive トラフィックカメラ	20	追加の地図を購入する	25
photoLive トラフィックカメラの表示と保存	20	アクセサリを購入する	26
地図上に photoLive トラフィックカメラを表示する	20	索引	27
トラフィックカメラを保存する	20		
前のルートと目的地を表示する	20		
zūmo 設定	20		
地図および車両設定	20		
地図を有効にする	20		
ナビゲーション設定	20		

取り付け

自動二輪へのデバイスの取り付け

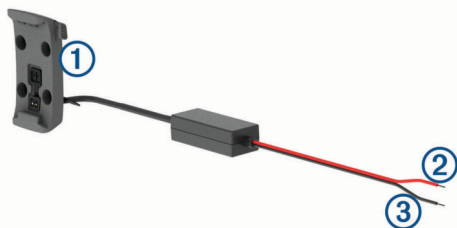
電源付きモーターサイクルマウント

⚠ 警告

Garmin® 装置の設置は、電気機器に関する適切な知識を持った、経験豊富な技術者が行うことを強くお勧めします。電源ケーブルの配線を誤ると、車両やバッテリーを破損し、怪我の原因になる可能性があります。

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全性および製品に関する重要な情報』ガイドを参照してください。

デバイスは、利用可能な電源と安全なケーブル配線に基づいて、自動二輪の適切で安全な場所に取り付ける必要があります。



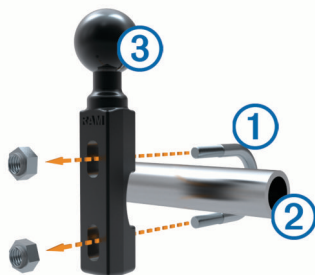
①	モーターサイクルマウント
②	DC 12~24V システム電源 (赤) 注: 一部のデバイスモデルでは、赤い電源ケーブルにインラインヒューズが含まれている場合があります。インラインヒューズがないケーブルは内部で保護されています。
③	システムグラウンド (黒)

ハンドルバーベースの取り付け

デバイスには、2つのハンドルバーの取り付けソリューションのための部品が含まれています。カスタムマウントには、追加のハードウェアが必要です。

U 字形ボルトとハンドルバーベースの取り付け

- 1 U 字形ボルト①をハンドルバー②に置き、端をハンドルバーベース③に通します。

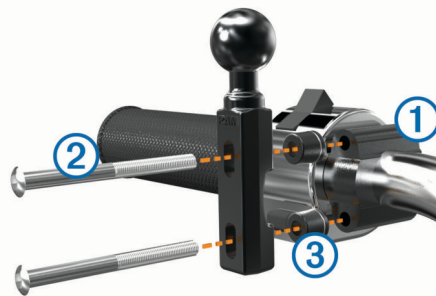


- 2 ナットを締め、ベースを固定します。

注: 推奨トルクは 50 lbf-in (5.65 N-m) です。トルクが 80 lbf-in (9.04 N-m) を超えないようにしてください。

ハンドルバーベースのクラッチクランプまたはブレーキクランプブラケットへの取り付け

- 1 クラッチクランプまたはブレーキクランプブラケット①の工場で行われた 2 本のボルトを取り外します。



注: 1/4 in. 標準ボルトと M6 ボルトの両方が付属しています。クラッチクランプまたはブレーキクランプブラケットの工場で行われた 2 本のボルトのサイズを合わせます。

- 2 新しいボルト②を、ハンドルバーベース、スペーサー③、およびクラッチクランプまたはブレーキクランプブラケットに通します。
- 3 ボルトを締め、ベースを固定します。

自動二輪マウントへ電源ケーブルを接続する

- 1 自動二輪マウント上側の開口部から電源ケーブルコネクタ①を通します。



- 2 ケーブルを開口部の下側②にすべり込ませ、ケーブルが隠れるように後ろへ引っ張ります。
- 3 マウントの後ろ④に黒いねじ③をしめて、ケーブルが動かないように固定します。



- 4 上部の穴にウェザーキャップ⑤をはめて、穴に押し込みます。

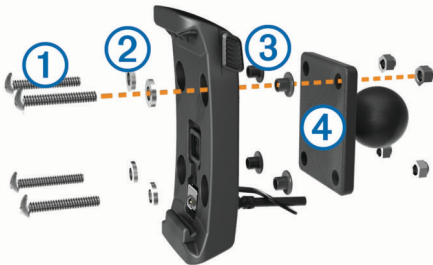


自動二輪マウントにベースプレートを取り付ける

注記

ベースプレートを含む自動二輪のその他の部品に直接接触し続けていると、時間の経過とともにマウントが損傷する場合があります。このような損傷を避けるため、マウントとベースプレート間にマウントスペーサーを取り付け、デバイスまたはマウントが自動二輪に一切接触しないようにします。

- 1 M4 x 20 mm なべ頭ねじ①をワッシャ②、クレードル、スペーサー③、ベースプレート④に通します。



- 2 ナットを締め、ベースプレートを固定します。

ハンドルバーベースにベースプレートを取り付ける

- 1 ハンドルバーベース①のボールとベースプレート②のボールの位置をダブルソケットアーム③のそれぞれの端で合わせます。



- 2 それぞれのボールをダブルソケットアームに差し込みます。
- 3 ノブをわずかに締めます。
- 4 最も見やすく、操作しやすいように調整します。
- 5 ノブを締め、マウントを固定します。

デバイスをモーターサイクルマウントに取り付ける

- 1 デバイスの左側をクレードルに合わせます。



- 2 デバイスの右側を、所定の位置に固定されるまで押し込みます。
- 3 デバイスを挿入した後にマウントのラッチ①が上がったままの場合は、押し下げます。

デバイスを自動二輪マウントから取り外す

- 1 マウントの底面にあるリリースボタンを押します。
- 2 デバイスを持ち上げて外します。

自動車にデバイスを取り付ける

注記

装置を取り付ける前に、フロントガラスへの取り付けに関する地域法を確認してください。

⚠ 警告

この製品には、リチウムイオン電池が使用されています。電池を高温になる場所に放置すると、怪我や製品損傷の可能性があるため、直射日光を避けた場所で装置を保管してください。

自動二輪車への取り付けに吸盤を使用しないでください。

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全性および製品に関する重要な情報』ガイドを参照してください。

注：自動車マウントは、すべてのデバイスモデルに付属しているわけではありません。別売アクセサリを購入するには、garmin.com にアクセスしてください。

- 1 自動車電源ケーブル①をマウントのコネクタ②に接続します。



- 2 吸盤③から透明のプラスチックを取り外します。
- 3 フロントガラスと吸盤の汚れを、柔らかい布で拭き取り乾かします。
- 4 吸着カップをフロントガラスに取り付け、レバー④をフロントガラス方向に倒します。
- 5 クレードル⑤を吸盤アームにはめ込みます。
- 6 デバイスの片側をクレードルに合わせます。
- 7 デバイスをクレードルにカチッと音がするまで押し込みます。
- 8 車両の電源ケーブルの反対側の端を、電源コンセントに接続します。

はじめに

警告

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全性および製品に関する重要な情報』ガイドを参照してください。

- デバイスのマップとソフトウェアを更新します (製品の更新, 22 ページ)。
- デバイスを取り付けて、電源に接続します。
- Bluetooth®電話とヘッドセットをペアリングします (電話とヘッドセットのペアリング, 13 ページ) (オプション)。
- GPS 信号を捕捉します (GPS 信号を捕捉する, 3 ページ)。
- 画面の輝度を調整します (画面の輝度を調整する, 3 ページ)。
- 目的地までナビゲーションします (ナビゲーションを開始する, 5 ページ)。

デバイスの概要



①	電源キー
②	microSD®メモリーカードスロット
③	USB 電源およびデータポート

デバイスの電源をオンまたはオフにする

- デバイスの電源をオンにするには、電源キーを押すか、デバイスを電源に接続します。
- デバイスを省電力モードにするには、デバイスの電源がオンになっている状態で電源キーを押します。
省電力モードになっている間は画面がオフになり、デバイスはわずかな電力しか消費しませんが、すぐに復帰して使用できます。
ヒント：バッテリーを充電している間にデバイスを省電力モードにすることにより、デバイスの充電時間を短縮できます。
- デバイスの電源を完全にオフにするには、画面にプロンプトが表示されるまで電源キーを押し続け、オフを選択します。
5 秒後にメッセージが表示されます。メッセージが表示される前に電源キーを離すと、デバイスは省電力モードに移行します。

GPS 信号を捕捉する

ナビゲーションデバイスの電源をオンにしたとき、GPS レシーバーは衛星データを収集して現在地を確定する必要があります。衛星信号の取得に要する時間は、ナビゲーションデバイスを最後に使用した場所からどのくらい離れているか、空をはっきり見渡せる場所にいるかどうか、あるいは最後にナビゲーションデバイスを使用してからどのくらい経っているかなど、さまざまな要素によって異なります。初めてナビゲーションデバイスの電源をオンにしたときは、衛星信号の取得に数分かかることがあります。

- 1 デバイスの電源をオンにします。
- 2 デバイスが衛星の位置を受信するまで待ちます。
- 3 必要に応じて、高層ビルや樹木から離れた、上空の開けた場所に移動します。

ステータスバーの は衛星信号の強度を表しています。バーが少なくとも半分あれば、ナビゲーションする準備ができます。

ステータスバーアイコン

ステータスバーはメインメニューの一番上に配置されています。ステータスバーアイコンはデバイスの機能情報を表示します。アイコンを選択すると、設定変更や詳細情報の表示ができます。

	GPS 信号ステータス。GPS の精度と受信した衛星情報を表示し続けます (GPS 信号ステータスを表示する, 25 ページ)。
	Bluetooth テクノロジーのステータス。Bluetooth の設定を表示するときに選択します (Bluetooth 設定, 21 ページ)。
	Wi-fi 信号強度。Wi-fi 設定を変更するときに選択します (Wi-Fi® 設定, 21 ページ)。
	ハンズフリー通話に接続済み。電話をかけるときに選択します (ハンズフリー通話, 14 ページ)。
	アクティブな交通モード。選択して交通モードを変更します。
9:10A	現在の時刻。時刻を設定するときに選択します (時間を設定する, 21 ページ)。
	バッテリー充電レベル。
	LiveTrack データの共有。アイコンに招待された閲覧者の数が表示されます。選択すると、LiveTrack アプリが開きます (LiveTrack, 18 ページ)。
	Smartphone Link ステータス。選択して Smartphone Link アプリに接続し、ライブトラフィックデータとその他のライブサービスを受信します (電話とのペアリングと Smartphone Link への接続を行う, 13 ページ)。アイコンが青の場合、デバイスは Smartphone Link アプリケーションに接続されています。
53°C	温度。天気予報を表示するときに選択します (天気予報を表示する, 19 ページ)。
	燃料の状態。燃料計の情報を表示するときに選択します (燃料の記録, 8 ページ)。

オンスクリーンボタンを使用する

オンスクリーンボタンを使用して、デバイス上のページ、メニュー、メニューオプションを操作できます。

- を選択すると、前のメニュー画面に戻ります。
- を押し続けると、すばやくメインメニューに戻ります。
- または を選択すると、リストやメニューをスクロールします。
- または を押し続けるとスクロール速度が速くなります。
- を選択すると、現在の画面に対応するオプションのコンテンツベースのメニューが表示されます。

音量を調整する

- 1 音量を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - スライダーバーを使用して、音量を調整します。
 - デバイスをミュート (消音) するには、 を選択します。
 - 追加オプションを表示するには、 を選択します。

オーディオミキサーを使用する

オーディオミキサーを使用して、ナビゲーションプロンプトや通話など、さまざまなタイプの音に対して音量レベルを設定できます。各タイプの音のレベルは、マスター音量に対するパーセンテージとなります。

- 1 音量を選択します。
- 2 > オーディオミキサーを選択します。
- 3 スライダーを使用して、各タイプの音量を調節します。

画面の輝度を調整する

- 1 設定 > 表示 > 輝度の順に選択します。
- 2 スライダーバーを使用して、輝度を調整します。

運転者への注意喚起の機能とアラート

注記

運転者アラートと制限速度機能は情報提供を行っているだけであり、すべての速度制限標識を守り、安全な運転の判断を行う責任はいかなる場合でも運転者にあります。Garmin は、適用されるすべての交通法規および標識に違反したことにより受ける罰金または出頭命令については一切責任を負いません。

このデバイスは、より安全な運転や効率の向上に役立つ機能を備えており、慣れ親しんだ地域で運転している場合でも役立ちます。デバイスは、アラートごとに通知音または音声メッセージを再生し、情報を表示します。ユーザーは、アラートの種類ごとに通知音または音声メッセージを有効または無効にすることができます。アラートによっては、利用できない地域もあります。

スクールゾーンまたは近くに学校: デバイスは通知音を再生し、この先の学校やスクールゾーンまでの距離と制限速度（利用可能な場合）を表示します。

制限速度低下: デバイスは通知音を再生し、この先の制限速度低下を表示するため、速度を下げる準備を整えることができます。

制限速度超過: 現在の道路に掲示されている制限速度を超えると、デバイスは通知音を再生し、速度制限アイコンに赤枠を表示します。

踏切: デバイスは通知音を再生し、この先の踏切までの距離を表示します。

動物出没: デバイスは通知音を再生し、この先の動物出没区域までの距離を表示します。

カーブ: デバイスは通知音を再生し、道路のカーブまでの距離を表示します。

渋滞: 渋滞に、より速い速度で近づくと、デバイスは通知音を再生し、渋滞までの距離を表示します。この機能を使用するには、デバイスはトラフィック情報を受信している必要があります（Smartphone Link を使用してトラフィックデータを受信する、16 ページ）。

疲労警告: 停止しないで 2 時間以上運転を続けると、デバイスは通知音を再生し、この先の休憩場所を提案します。

運転者アラートを有効または無効にする

個別のオーディブル運転者アラートをオフにすることができます。オーディブルアラートを無効にしても、視覚アラートは表示されます。

- 1 **設定 > 安全運転支援 > オーディブル運転者アラート**の順に選択します。
- 2 各アラートの横にあるチェックボックスをオンまたはオフにします。

赤信号カメラとスピードカメラ

注記

Garmin は、赤外線カメラやスピードカメラのデータベースの正確性、またはその使用による影響に対して一切の責任を負いません。

注: この機能は、一部の国、または製品モデルではご利用いただけません。

製品モデルによっては、一部地域で赤信号カメラおよびスピードカメラの位置に関する情報が利用できます。報告されたスピードカメラや赤信号カメラに近づくと、アラートされます。

- ライブの赤信号カメラやスピードカメラのデータは、Smartphone Link アプリを使用して Garmin ライブサービスからサブスクリプションとして利用できます（Garmin ライブサービス、13 ページ）。
- 赤信号カメラやスピードカメラの位置のデータベースを最新の状態に維持するには、スピードカメラのデータをダウンロードして保存できるようにするため、デバイスにアクティブなサブスクリプションが必要です。 garmin.com

/speedcameras に移動して、互換性と購入情報をご確認ください。サブスクリプションを購入したり、ワンタイムアップグレード（1 回限りの更新）を行ったりできます。新しい地域を購入したり、既存の購読を延長したりすることはいつでもできます。

注: 一部の地域の製品バンドルでは、赤信号カメラとスピードカメラのデータが事前にロードされていて、無期限で無料更新される場合があります。

- Garmin Express™ ソフトウェア (garmin.com/express) を使用してデバイスに保存されたカメラデータベースを更新できます。最新のカメラ情報を受信するために、デバイスを頻繁に更新してください。

事故検知と通知

警告

このデバイスでは、あなたの現在地を緊急連絡先に送信することができます。これは補助的な機能であるため、緊急援助を得るための主要手段として頼るべきではありません。Smartphone Link アプリはお客様に代わって緊急時サービスに連絡することはありません。

お客様の zūmo デバイスは、内蔵のセンサーを使用して車両事故の可能性を検知します。

- 事故連絡先を設定した場合、デバイスが事故を検知し、車両が停止すると自動テキストメッセージがその連絡先に送信されます。運転手が電話またはメッセージを送信できない場合、その連絡先に状況を警告することができます。この機能は、メッセージを送信するのに Smartphone Link との接続およびアクティブなモバイルデータへの接続が必要です。
- 設定していない場合に事故が検知されると、最も近い住所や地理座標が自動的に表示されます。この機能は、緊急時に 110 番や 119 番で自分のいる場所を知らせる場合に便利です。現在地の確認ページを表示するには、**詳細**を選択します。

事故連絡先の設定

事故検知の連絡先を設定する前に、次の作業を実行してください。

- デバイスを Smartphone Link に接続します（電話とのペアリングと Smartphone Link への接続を行う、13 ページ）。
 - **設定 > Bluetooth** の順に選択し、スマートフォンの名称を選んで、**通話オプション**が有効になっていることを確認します。
- 事故連絡先のセットアップ中デバイスには、Smartphone Link アプリおよびスマートフォンの電話帳にアクセスする必要があります。ハンズフリー通話にデバイスを使用しない場合、事故連絡先の設定後に通話オプションを無効化できます。

- 1 **設定 > 安全運転支援 > 事故通知 > 継続**を選択します。スマートフォン連絡先のリストが表示されます。
- 2 連絡先を選択し、**次へ**を選択します。
- 3 連絡先の電話番号を確認して**次へ**を選択します。
- 4 自分の名前またはニックネームを入力し、**OK**を選択します。
- 5 事故メッセージのサンプルを確認し、**次へ**を選択します。
- 6 画面の指示に従い、連絡先に事故連絡先として追加したことを通知します。
注: 事故の通知メッセージには、入力した名前やニックネームが含まれますが、ユーザーの電話番号から送信されません。このメッセージは、サードパーティサービスを使用して送信されるので、事故連絡先には不明の番号から事故メッセージが送信されることを通知してください。
- 7 **OK**を選択します。
- 8 情報を見直して、**保存**を選択します。

事故通知のキャンセル

デバイスが事故を検知すると、メッセージおよび音声プロンプトにより事故連絡先に通知が送信されることが通知されます。事故を検知すると 60 秒のタイマーがカウントダウンを始め、タイ

マーが切れると通知が自動的に送信されます。通知を送信しない場合は、キャンセルすることができます。

タイマーが切れる前に、**キャンセル**を選択します。

事故通知の無効化

事故通知が無効になっていると、デバイスは事故を検出しても SMS 通知を送信しません。

- 1 **設定** > **安全運転支援** > **事故通知**の順に選択します。
- 2 **事故検知 SMS** チェックボックスをオフにします。

ヘルメット着用に関する通知文の表示

デバイスで最初に衛星を補足したときや、自動二輪の安全規則が提供される場所に近づいたときに、ヘルメットやアイプロテクターの着用に関する通知が zūmo デバイスに表示されることがあります。

注記

安全のため、Garmin では、すべての運転者にヘルメットの着用をお勧めしています。ヘルメットに関する法律の通知は参照用であり、変更される場合があります。また、この通知は、法律上の助言を与えることを目的としていません。ヘルメットに関する法律の通知は、米国およびカナダでのみ使用できます。

通知を選択すると、詳細情報が表示されます。

ヘルメットに関する法律を検索する

各州と地方のヘルメットに関する法律を検索することができます。

- 1 **アプリケーション** > **ヘルメットガイド**を選択します。
- 2 州または地方を選択します。

目的地へのナビゲーション

ルート

ルートとは、現在地から 1 つ以上の目的地までの経路のことです。

- デバイスは、ルート計算モード (**ルート探索方法を変更する, 5 ページ**) や回避 (**遅延、有料道路、およびエリアを回避する, 7 ページ**) など設定した環境設定に基づいて、目的地までの推奨ルートを計算します。
- ユーザーは、推奨ルートを使用して目的地へのナビゲーションをすばやく開始することも、代替ルートを選択することもできます (**ナビゲーションを開始する, 5 ページ**)。
- 使用または回避したい特定の道路がある場合は、ルートをカスタマイズできます。
- ルートに複数の目的地を追加できます。

ナビゲーションを開始する

- 1 **目的地検索**を選択し、場所を検索します。
- 2 位置を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - 推奨ルートを使用してナビゲーションを開始するには、**出発**を選択します。
 - 代替ルートを指定するには、**V**を選択し、ルートを選択します。地図の右側に代替ルートが表示されます。
 - ルートの経路を編集するには、**V** > **ルートの編集**を選択し、ルートにシェイピングポイントを追加します。

デバイスは場所までのルートを計算し、音声案内と地図上の情報によりルートを案内します (**地図上のルート, 5 ページ**)。ルートにある主要な道路のプレビューが地図の端に数秒間表示されます。

追加の目的地で停止する必要がある場合、ルートに場所を追加できます。

ルート探索方法を変更する

- 1 **設定** > **ナビゲーション** > **計算モード**の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - **時間優先**を選択すると、一番早く目的地に到達できるルートを計算しますが、走行距離は長くなることがあります。
 - **Garmin Adventurous Routing™**を選択すると、優先的にカーブの多いルートを選択して計算します。
 - **直行**を選択すると、道路状況にかかわらず、ポイント間のルートを計算します。
 - **距離優先**を選択すると、走行距離が短くなるようにルートを計算しますが、走行時間は長くなる場合があります。

アドベンチャールートを使用してルートを選択する

ご使用のデバイスで、カーブやヒルが多い道を含み、幹線道路が少ないルートを計算できます。この機能により運転を楽しめますが、目的地までの時間や距離が長くなる可能性があります。

注: この機能は、すべてのデバイスモデルおよびすべての地域で利用できるわけではありません。

- 1 **設定** > **ナビゲーション** > **計算モード** > **Garmin Adventurous Routing™** > **保存**を選択します。
- 2 **Garmin Adventurous Routing™**を選択します。
- 3 **カーブを優先**スライダを使用して、ルートのカーブ数を増減します。
- 4 **峠道を優先**スライダを使用して、ルートのヒル数を増減します。
- 5 **主要高速道路を避ける**スライダを使用して、ルートの幹線道路数を増減します。
- 6 ルートを開始します (**ナビゲーションを開始する, 5 ページ**)。

地図を使用してナビゲーションを開始する

地図から場所を選択してナビゲーションを開始できます。

- 1 **地図表示**を選択します。
- 2 地図をドラッグおよび拡大 / 縮小して、検索する範囲を表示します。
- 3 必要な場合は、**Q**を選択して、表示されたジャンル別施設をカテゴリ別にフィルタリングします。地図上に位置マーカー (**📍**または青いドット) が表示されます。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - 位置マーカーを選択します。
 - ストリート、交差点、または住所位置などのポイントを選択します。
- 5 **出発**を選択します。

帰宅する

初めて自宅へのルートを開始すると、自宅の場所の入力を求めるメッセージがデバイスに表示されます。

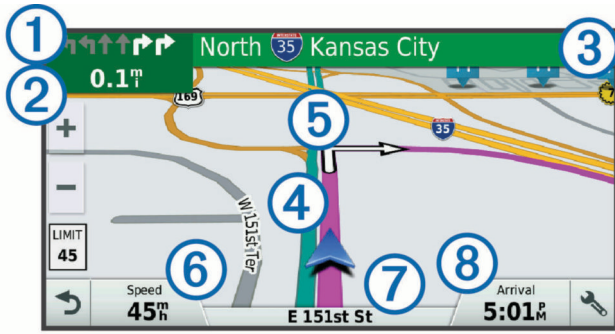
- 1 **目的地検索** > **自宅へ**の順に選択します。
- 2 必要に応じて、自宅の場所を入力します。

自宅の場所を編集する

- 1 **目的地検索** > **📍** > **自宅登録**の順に選択します。
- 2 自宅の場所を入力します。

地図上のルート

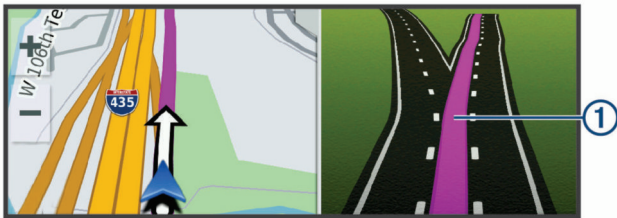
走行中、デバイスは、音声と地図上の情報で、目的地までのルートを案内します。方向転換地点や出口、またはその他のアクションに関する指示は、地図の一番上に表示されます。



①	ルートでの次のアクション。次の方向転換、出口、その他のアクションおよび（利用可能な場合）走行すべきレーンを示します。
②	次のアクションまでの距離。
③	次のアクションに関連する通りや出口の名前。
④	地図上に強調表示されたルート。
⑤	ルートでの次のアクション。地図上の矢印はこの先のアクションの場所を示します。
⑥	車速。
⑦	走行中の道路の名前。
⑧	到着予想時刻。 ヒント：このフィールドにタッチすると、表示される情報を変更できます。

アクティブ車線案内

ルートで転換地点、出口、またはインターチェンジに近づくと、道路の詳細なシミュレーションがある場合は地図の横に表示されます。色付きの線①は方向転換に適した車線を示します。



方向転換と方向指示を表示する

ルートのナビゲーション中に、ルートのこの先の方向転換、レーン変更、その他の方向指示を表示できます。

- 地図から、オプションを選択します。
 - ナビゲーションするにつれてこの先の方向転換や方向指示を表示するには、 > **方向転換**を選択します。地図ツールで、地図の横に次の4つの方向転換や方向指示が表示されます。ルートをナビゲーションするにつれて、このリストは自動的に更新されます。
 - ルート全体の方向転換と方向指示の完全なリストを表示するには、地図上部のテキストバーを選択します。
- 方向転換または方向指示を選択します（オプション）。詳細情報が表示されます。利用可能な場合は、主要な分岐点が画像で表示されます。

地図にルート全体を表示する

- ルートのナビゲーション中に、地図上の任意の場所を選択します。
- を選択します。

目的地に到着する

目的地に近づくと、デバイスはルートの達成に役立つ情報を提供します。

- は地図上の目的地の場所を示し、目的地に近づいていることを音声プロンプトがアナウンスします。

- 目的地に近づくと、デバイスは駐車場の検索をするかどうか自動的に尋ねます。はいを選択して、近くの駐車場を検索できます（[目的地の近くの駐車場](#), 6 ページ）。
- 目的地で停車した場合、デバイスはルートを自動的に終了します。デバイスが到着を自動的に検出しなかった場合は、停止を選択してルートを終了できます。

目的地の近くの駐車場

デバイスは、目的地の近くの駐車場所を探すのに役立ちます。目的地に近づくと、デバイスは駐車場の検索をするかどうか自動的に尋ねます。

- 次の中からオプションを選択します。
 - デバイスに確認のメッセージが表示されたら、**はい**を選択して近くの駐車場を検索します。
 - デバイスに確認のメッセージが表示されなかった場合は、**目的地検索 > カテゴリー > 駐車場の順**に選択し、 > **目的地周辺**を選択します。
- 駐車場をフィルタリング**を選択し、空き状況、タイプ、価格、または支払い方法の1つまたは複数のフィルタカテゴリーを選択します（オプション）。
注：詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。
- 駐車場を選択し、**出発 > 次の経由地を追加**の順に選択します。デバイスは、駐車場にガイドします。

最後に駐車した場所を検索する

デバイスがオンの状態でデバイスを車両電源から取り外すと、現在地が駐車場所として保存されます。

アクション > 最後の場所の順に選択します。

アクティブルートを変更する

ルートに場所を追加する

ルートに場所を追加する前に、ナビゲーションを実行している必要があります（[ナビゲーションを開始する](#), 5 ページ）。

ルートの途中または最後に場所を追加できます。たとえば、ルートの次の目的地としてガソリンスタンドを追加できます。

ヒント：複数の目的地またはスケジュールされた経由地がある複雑なルートを作成するには、トリッププランナーを使用して、トリップの計画、スケジュール、および保存ができます（[トリップを計画する](#), 17 ページ）。

- 地図から、 > **目的地検索**を選択します。
- 位置を検索します。
- 位置を選択します。
- 出発**を選択します。
- 次の中からオプションを選択します。
 - ルートの次の目的地として場所を追加するには、**次の経由地を追加**を選択します。
 - ルートの最後に場所を追加するには、**最後の経由地を追加**を選択します。
 - 場所を追加して、ルートでの目的地の順序を編集するには、**アクティブルートに追加**を選択します。

デバイスは、追加された場所を含めるためにルートを再計算し、順番に目的地までのルートを案内します。

ルートを形成する

ルートを形成する前に、ルートを開始する必要があります（[ナビゲーションを開始する](#), 5 ページ）。

手動でルートを形成してコースを変更できます。これにより、ルートに目的地を追加せずに、特定の道路を使用するようにルートの方向を選択することや特定の地域を通過することができます。

- 地図上の任意の場所を選択します。
- を選択します。
デバイスがルートシェイピングモードになります。

3 地図上で位置を選択します。

ヒント： **+** を選択して、地図上でズームインし、より正確な場所を選択することもできます。

デバイスは、選択された場所を通過するようにルートを再計算します。

4 必要に応じて、オプションを選択します。

- ルートにさらにシェイピングポイントを追加するには、地図上で追加の場所を選択します。
- シェイピングポイントを削除するには、**✕** を選択します。

5 ルートの形成が完了したら、**出発** を選択します。

迂回路を検索する

ルート上の指定した距離の迂回路または特定の道路周辺の迂回路を検索できます。これは、工事ゾーン、道路閉鎖、または走行が難しい道路条件が発生したときに役立ちます。

1 地図で **↶** > **ルートの変更** を選択します。

ヒント： ルートの変更ツールが [地図ツール] メニューにない場合は追加できます (**地図ツールを有効にする**, 12 ページ)。

2 次の中からオプションを選択します。

- 距離を指定して迂回するには、**距離で迂回** を選択します。
- ルート上の特定の道路を迂回するには、**道路別迂回路** を選択します。
- 新しいルートを検索するには、**迂回路** を選択します。

ナビゲーションを停止する

地図で、**↶** > **停止** を選択します。

推奨ルートを利用する

この機能を使用する前に、1つ以上の位置を保存して、走行履歴機能を有効にする必要があります (**デバイスおよびプライバシー設定**, 21 ページ)。

myTrends™ 機能を使用すると、走行履歴、特定の曜日や時刻に基づいてデバイスが目的地を予測します。保存した位置まで数回走行すると、地図上のナビゲーションバーに予定移動時間およびトラフィック情報と共にその位置が表示されます。

位置までのルート候補を表示するには、ナビゲーションバーを選択します。

遅延、有料道路、およびエリアを回避する

ルート上の交通遅延を回避する

交通の遅延を回避する前に、トラフィック情報を受信している必要があります (**Smartphone Link を使用してトラフィックデータを受信する**, 16 ページ)。

デフォルトでは、デバイスは自動的にルートを最適化して交通遅延を回避します。 [**トラフィック設定**] でこのオプションを無効にしている場合 (**トラフィック設定**, 21 ページ)、手動で交通遅延を表示し、回避できます。

- 1 ナビゲーションの実行中に、**↶** > **トラフィック** を選択します。
- 2 代替ルートを選択します (利用可能な場合)。
- 3 **出発** を選択します。

有料道路を回避する

デバイスは、有料道路、有料橋などの有料区域、または渋滞区域の通過を回避できます。他に妥当なルートがない場合は、ルートに有料区域が含まれる場合があります。

1 **設定** > **ナビゲーション** の順に選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

注： メニューは、地域とデバイス上の地図データにより変化します。

- **有料道路** を選択します。
- **通行料金** > **有料道路** を選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

• 有料区域を通過する前に毎回確認するには、**常に確認する** を選択します。

• 有料道路を常に回避するには、**回避** を選択します。

• 有料道路を常に許可するには、**許可** を選択します。

4 **保存** を選択します。

有料ステッカーを回避する

注： この機能を利用できない地域もあります。

国によっては、デバイスの地図データに詳細な有料ステッカー情報が含まれる場合があります。国ごとに有料ステッカーを回避または許可できます。

1 **設定** > **ナビゲーション** > **通行料金** > **料金ステッカー** を選択します。

2 国を選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

• 有料区域を通過する前に毎回確認するには、**常に確認する** を選択します。

• 有料道路を常に回避するには、**回避** を選択します。

• 有料道路を常に許可するには、**許可** を選択します。

4 **保存** を選択します。

道路の回避機能

1 **設定** > **ナビゲーション** > **回避** の順に選択します。

2 ルート上で回避したい道路の種類を選択し、**保存** を選択します。

カスタム回避

カスタム回避では、道路を含む特定のエリアまたは区域を選択して回避できます。デバイスは、ルートを計算するときは、他に妥当なルートがない場合を除き、これらのエリアと道路を回避します。

道路を回避する

1 **設定** > **ナビゲーション** > **カスタム回避** の順に選択します。

2 **回避道路の追加** を選択します。

3 回避する道路区域の始点を選択し、**次へ** を選択します。

4 道路区域の終点を選択し、**次へ** を選択します。

5 **OK** を選択します。

エリアを回避する

1 **設定** > **ナビゲーション** > **カスタム回避** の順に選択します。

2 必要に応じて、**回避の追加** を選択します。

3 **回避エリアの追加** を選択します。

4 回避するエリアの左上隅を選択し、**次へ** を選択します。

5 回避するエリアの右下隅を選択し、**次へ** を選択します。

選択されたエリアが地図上に影付きで表示されます。

6 **OK** を選択します。

カスタム回避を無効にする

カスタム回避を削除せずに無効にします。

1 **設定** > **ナビゲーション** > **カスタム回避** の順に選択します。

2 **回避** を選択します。

3 **≡** > **無効** の順に選択します。

カスタム回避を削除する

1 **設定** > **ナビゲーション** > **カスタム回避** の順に選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

• すべてのカスタム回避を削除するには、**✕** を選択します。


• カスタム回避を1件削除するには、削除したいカスタム回避を選択し、**≡** > **削除** の順に選択します。

直行ルートをナビゲーションする

ナビゲーションの指示に従わなかった場合は、直行モードを使用できます。

- 1 設定 > ナビゲーションの順に選択します。
- 2 計算モード > 直行 > 保存の順に選択します。
次のルートは、目的地への直線ルートとして計算されます。

燃料の記録

デバイスを設定して、燃料使用量を予測したり、予測最大走行距離に達した際に警告をだしたり、予測残走行距離に基づいて燃料の給油を促すようにすることができます。燃料計を有効にすると、現在の燃料の状態が示されます。

白: 燃料計が無効、またはデバイスが自動二輪マウントに接続されていません。

緑: 予測残走行距離が燃料タンクアラームレベルを上回っています。

橙: 予測残走行距離は燃料タンクアラームレベルを下回っています。

赤: ガソリン残量で走行できる予測距離はゼロです。

燃料計を有効にする

燃料計を有効にするには、事前にデバイスを自動二輪モードまたはオフロードモードにして、自動二輪車マウントに取り付ける必要があります。

燃料計を有効にすると、トリップコンピューターに燃料ゲージが表示されます ([トリップ情報ページを表示する, 12 ページ](#))。

- 1 燃料タンクを満タンにします。
- 2 [77 リケーション > 燃料設定 > 燃料の記録](#)の順に選択します。
- 3 満タン時の距離を選択します。
- 4 満タンで走行する距離を入力し、OKを選択します。

ガソリン残量アラームの設定

燃料タンクの残量が少なくなったときに、警告するよう設定することができます。

注: 低燃料警告を機能させるには、デバイスを自動二輪車マウントに接続する必要があります。

- 1 燃料計を有効にします ([「燃料計を有効にする, 8 ページ」](#))。
- 2 燃料残量警告を選択します。
- 3 距離を入力し OK を選択します。

燃料が入力した距離に必要なだけの容量まで減ると、地図ページにガソリン残量アラームが表示されます。

燃料タンクの燃費をリセットする

燃料タンクに給油するときは、燃料残量を正確に追跡するために、デバイスで燃料タンクの燃費をリセットする必要があります。

[77 リケーション > 燃料設定 > 燃料タンクのリセット](#)の順に選択します。

燃料給油案内を有効にする

燃料給油案内を有効にするには、事前にデバイスを自動二輪モードにして、自動二輪車マウントに取り付け、燃料計を有効にする必要があります。

予測残走行距離に基づいて、燃料給油を促すように設定することができます。

[77 リケーション > 燃料設定 > 燃料給油案内](#)の順に選択します。

位置の検索と保存を行う

デバイスにロードされた地図には、レストランやホテル、自動車関連などの場所や詳細なストリート情報が含まれています。目的地検索メニューは、参照、検索、情報の保存のために利用できる複数の方法により、目的地の検索に役立ちます。

- すべての場所情報をすばやく検索するには、検索語を入力します ([検索バーを使用して位置を検索する, 8 ページ](#))。
- カテゴリごとにロード済みのジャンル別施設を参照または検索します ([ジャンル別施設, 8 ページ](#))。

- Foursquare®のジャンル別施設を検索し、チェックインします ([Foursquare のジャンル別施設を検索する, 10 ページ](#))。
- 検索ツールを使用して、住所、交差点、または地理座標など特定の場所を検索します ([検索ツール, 10 ページ](#))。
- 別の都市または地域の周辺を検索します ([検索エリアを変更する, 9 ページ](#))。
- お気に入りの場所を保存して後からすばやく検索できます ([位置を保存する, 11 ページ](#))。
- 最近検索した場所に戻ります ([最近検索した位置を表示する, 10 ページ](#))。

ジャンル別施設

ジャンル別施設は、有用と思われるまたは興味深い場所です。ジャンル別施設は、カテゴリ別に分類されガソリンスタンド、レストラン、ホテル、娯楽施設などよく知られた移動先を含めることができます。

検索バーを使用して位置を検索する

検索バーでは、カテゴリ、ブランド名、住所、または都市名を入力して位置を検索します。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 検索バーで 検索の入力を選択します。
- 3 検索語の全体または一部を入力します。
検索語の候補が検索バーの下に表示されます。
- 4 次のの中からオプションを選択します。
 - 業種名を検索するには、「映画館」などのカテゴリ名を入力します。
 - 店名を検索するには、名前の一部またはすべてを入力します。
 - 現在地の住所を検索するには、番地またはストリート名を入力します。
 - 別の都市の住所を検索するには、州名、都市名、ストリート名および番地を入力します。
 - 都市を検索するには、州名および都市名を入力します。
 - 座標を検索するには、緯度 / 経度を入力します。
- 5 次のの中からオプションを選択します。
 - 検索語の候補を使用して検索するには、検索語を選択します。
 - 入力したテキストを使用して検索するには、Q を選択します。
- 6 必要に応じて、位置を選択します。

カテゴリを入力して位置を検索する

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 カテゴリを選択するか、または カテゴリを選択します。
- 3 必要に応じて、サブカテゴリを選択します。
- 4 位置を選択します。

カテゴリ内を検索する

ジャンル別施設の検索後、ある特定のカテゴリに、最後に選択した目的地からさかのぼって 4 か所を含むクイックサーチリストが表示される場合があります。

- 1 目的地検索 > カテゴリの順に選択します。
- 2 カテゴリを選択します。
- 3 次のの中からオプションを選択します。
 - 画面右側のクイックサーチリストから、目的地を選択します。
クイックサーチリストには、選択したカテゴリで最近検索した場所のリストが表示されます。
 - 必要に応じてサブカテゴリを選択し、目的地を選択します。

場所内のジャンル別施設にナビゲーションする

注：この機能は、すべての地域またはすべての製品モデルで利用できるわけではありません。

ショッピングモール内のストアまたは空港の特定のターミナルなど、大規模な場所の中にあるジャンル別施設 (POI) へのルートを作成できます。

- 1 目的地検索 > 検索の入力を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - 場所を検索するには、場所の名前または住所を入力し、Q を選択して、手順3に進みます。
 - POIを検索するには、POIの名前を入力し、Qを選択して、手順5に進みます。
- 3 場所を選択します。場所の下にレストラン、レンタカー、またはターミナルなど、カテゴリーのリストが表示されます。
- 4 カテゴリーを選択します。
- 5 POIを選択し、出発を選択します。

デバイスは、POIの周辺の駐車場または場所までのルートを作成します。目的地に到着すると、推奨の駐車場がチェックマークで示されます。ラベルの付いたポイントは、場所内にあるPOIの位置を示します。

場所の探索

注：この機能は、すべての地域またはすべての製品モデルで利用できるわけではありません。

各場所内にあるすべてのジャンル別施設のリストを表示できます。

- 1 場所を選択します。
- 2 ⓘ > この場所を詳細に調査するを選択します。

場所検索の結果

デフォルトでは、場所検索の結果はリストに表示され、最も近い場所が一番上に表示されます。下にスクロールしてより多くの結果を表示できます。

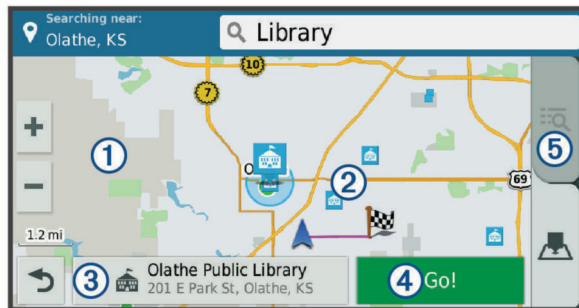


①	場所を選択してオプションメニューを表示します。
② ⓘ	選択して、選択した場所に関する詳細情報を表示します。
③ P	選択して、場所の近くの駐車場を検索します。
④ Y	選択して、場所への代替ルートを表示します。
⑤ 出発	選択して、推奨ルートを使用して場所へのナビゲーションを開始します。
⑥ 🗺️	選択して、検索結果を地図上に表示します。

地図上の場所検索結果

場所検索の結果をリストではなく地図に表示できます。

場所検索の結果から、🗺️を選択します。最も近い場所が地図の中心に表示され、選択した場所の基本情報が地図の下部に表示されます。



①	地図をドラッグして、追加の検索結果を表示します。
②	追加の検索結果。選択して、別の場所を表示します。
③	選択した場所の概要。選択して、選択した場所に関する詳細情報を表示します。
④ 出発	選択して、推奨ルートを使用して場所へのナビゲーションを開始します。
⑤ 🗺️	選択して、検索結果をリストに表示します。

検索エリアを変更する

デフォルトでは、デバイスは現在地に近い場所を検索します。目的地の近く、別の都市の近く、アクティブルート沿いなど別のエリアの検索もできます。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 📍を選択します。
- 3 オプションを選択します。

駐車場

zūmo デバイスは詳細な駐車場データを含んでいます。これは、駐車場の利用可能性、駐車場のタイプ、料金、または認められている支払い方法に基づいて近くの駐車場を検索するのに役立ちます。

一部の地域では、zūmo デバイスを Smartphone Link に接続しているときにライブパーキングデータを入手できます (電話とのペアリングと Smartphone Link への接続を行う, 13 ページ)。デバイスがライブパーキングデータを受信中に、リアルタイムパーキングトレンドを表示できます。

注：詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。Garmin は、ライブパーキングデータの正確性または適時性について責任を負いません。

現在の場所近くの駐車場を検索する

- 1 目的地検索 > カテゴリー > 駐車場の順に選択します。
- 2 駐車場をフィルタリングを選択し、空き状況、タイプ、価格、または支払い方法の1つまたは複数のフィルタカテゴリーを選択します (オプション)。
 - 注：詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。
- 3 駐車場を選択します。
- 4 出発を選択します。

指定した場所近くの駐車場を検索する

- 1 位置情報を検索します。
- 2 位置検索結果から位置を選択します。
- 3 Pを選択します。
 - 選択した場所の近くにある駐車場のリストが表示されます。
- 4 駐車場をフィルタリングを選択し、空き状況、タイプ、価格、または支払い方法の1つまたは複数のフィルタカテゴリーを選択します (オプション)。
 - 注：詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。
- 5 駐車場を選択します。

6 出発を選択します。

駐車場の色分けと記号について

詳細なパーキングデータがある駐車場所では、駐車スポットが見つかる可能性が色で表示されます。記号は駐車場のタイプ（路上またはパーキングロット）、関連する料金情報、および支払タイプを示します。

これらの色と記号の凡例はデバイスで表示できます。

パーキング検索の結果から、**1**を選択します。

検索ツール

検索ツールでは、画面に表示される指示に従って、特定の位置を検索できます。

住所を検索する

注：デバイスにロードした地図データによっては、手順が異なる場合があります。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 必要に応じて、**周辺の検索**：を選択し検索範囲を変更します（**検索エリアを変更する**, 9 ページ）。
- 3 アドレスを選択します。
- 4 画面に表示される指示に従い、住所情報を入力します。
- 5 番地等を選択します。

交差点を検索する

2本のストリート、幹線道路、またはその他の道路の間にある交差点またはジャンクションを検索できます。

- 1 目的地検索 > カテゴリー > 交差点の順に選択します。
- 2 画面に表示される指示に従い、ストリート情報を入力します。
- 3 交差点を選択します。

都市を検索する

- 1 目的地検索 > カテゴリー > 都市の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - 周辺都市のリストから都市を選択します。
 - 別の場所の周辺を検索するには、**周辺の検索**：（**検索エリアを変更する**, 9 ページ）を選択します。
 - 名前前で都市を検索するには、**検索の入力**を選択し、都市名を入力して、**Q**を選択します。

座標を使用して位置を検索する

緯度 / 経度を指定して、位置を検索できます。これはジオキャッシングを行う場合に役立ちます。

- 1 目的地検索 > カテゴリー > 座標の順に選択します。
- 2 必要に応じて、**📍**を選択し、座標形式やデータを変更します。
- 3 緯度 / 経度を入力します。
- 4 地図に表示を選択します。

Foursquare

Foursquare は、場所に基づくソーシャルネットワークです。お使いのデバイスにはロード済みの Foursquare のジャンル別施設があり、場所検索の結果に Foursquare ロゴで示されます。

追加機能については、互換性のあるスマートフォンで Smartphone Link を使用して、Foursquare アカウントに接続できます。Smartphone Link を使用して Foursquare アカウントに接続しているときは、Foursquare の場所の詳細の表示、場所へのチェックイン、およびオンライン Foursquare データベースでジャンル別施設の検索が可能です。

Foursquare アカウントに接続する

- 1 デバイスを Smartphone Link に接続します（**電話とのペアリングと Smartphone Link への接続を行う**, 13 ページ）。
- 2 スマートフォンで、Smartphone Link アプリを開きます。
- 3 Smartphone Link アプリ設定を開き、**Foursquare® > Login**を選択します。

4 Foursquare ログイン情報を入力します。

Foursquare のジャンル別施設を検索する

デバイスにロードした Foursquare のジャンル別施設を検索できます。Smartphone Link を使用して Foursquare アカウントに接続しているとき、検索では、オンライン Foursquare データベースから最新の結果が得られ、Foursquare ユーザーアカウントからはカスタマイズされた結果が得られます。

目的地検索 > カテゴリー > Foursquare® の順に選択します。

Foursquare の場所の詳細を表示する

Foursquare の場所の詳細を表示する前に、Smartphone Link が実行されているサポートされている電話に接続して、Foursquare アカウントにログインする必要があります。

ユーザー評価、レストランの価格設定情報、営業時間など、Foursquare の場所に関する詳細情報を表示できます。

- 1 場所についての検索の結果から Foursquare のジャンル別施設を選択します。
- 2 **1**を選択します。

Foursquare によるチェックイン

Foursquare でチェックインする前に、Smartphone Link が実行されているサポートされている電話に接続して、Foursquare アカウントにログインする必要があります。

- 1 **77** **リク-ジシ** > Foursquare® > **チェックイン**を選択します。
- 2 ジャンル別施設を選択します。
- 3 **1** > **チェックイン**を選択します。

TripAdvisor®

デバイスには TripAdvisor ジャンル別施設および評価が登録されています。TripAdvisor 評価は、自動的に該当するジャンル別施設リストの検索結果に表示されます。近くの TripAdvisor ジャンル別施設を検索して、距離または人気度に基づき並べ替えることもできます。

TripAdvisor ジャンル別施設 (POI) を検索する

- 1 目的地検索 > カテゴリー > TripAdvisor の順に選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。

そのカテゴリーに該当する、近くの TripAdvisor ジャンル別施設のリストが表示されます。
- 3 距離または人気度で検索結果を並べ替えるには、**結果を並べ替える**を選択します（オプション）。

最近検索した位置を表示する

デバイスには、過去に検索した場所の履歴が最新の 50 件保存されています。

目的地検索 > 最近表示した項目の順に選択します。

最近検索した場所のリストを消去する

目的地検索 > 最近表示した項目 > **☰** > 消去 > はいの順に選択します。

現在地情報を表示する

[現在地の確認] ページを使用して、現在地に関する情報を表示できます。この機能は、緊急時に 110 番や 119 番で自分のいる場所を知らせる場合に便利です。

地図で、車両を選択します。

緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する

[現在地の確認] ページを使用して、直近の病院、警察署、およびガソリンスタンドを検索できます。

- 1 地図で、車両を選択します。
- 2 病院、警察署、または **ガソリンスタンド** を選択します。

選択したサービスの場所のリストが表示され、最寄りの場所が一番上に表示されます。
- 3 位置を選択します。

4 次の中からオプションを選択します。

- その場所までのナビゲーションが開始するには、**出発**を選択します
- 電話番号や場所に関するその他の詳細を表示するには、**①**を選択します。

現在地への道順を表示する

自分が現在いる位置への道順を誰かに知らせる必要がある場合、道順のリストを表示できます。

- 1 地図で、車両を選択します。
- 2 **≡** > **現在地までの道順**の順に選択します。
- 3 始点を選択します。
- 4 **選択**を選択します。

ショートカットを追加する

[目的地検索]メニューにショートカットを追加できます。ショートカットから、位置、カテゴリ、または検索ツールを直接参照できます。

[目的地検索]メニューには 36 個までのショートカットアイコンを追加できます。

- 1 **目的地検索** > **ショートカットの追加**の順に選択します。
- 2 アイテムを選択します。

ショートカットを削除する

- 1 **目的地検索** > **≡** > **ショートカットの削除**の順に選択します。
- 2 削除するショートカットを選択します。
- 3 確認のため再度ショートカットを選択します。
- 4 **保存**を選択します。

位置を保存する

位置を保存する

- 1 位置を検索します (カテゴリを入力して位置を検索する, 8 ページ)。
- 2 検索結果から位置を選択します。
- 3 **①**を選択します。
- 4 **≡** > **保存**を選択します。
- 5 必要に応じて、名前を入力し、**OK**を選択します。

現在地を保存する

- 1 地図で、車両アイコンを選択します。
- 2 **保存**を選択します。
- 3 名前を入力し、**OK**を選択します。
- 4 **OK**を選択します。

保存した位置を編集する

- 1 **目的地検索** > **保存済み**の順に選択します。
- 2 必要に応じて、カテゴリを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4 **①**を選択します。
- 5 **≡** > **編集**を選択します。
- 6 次の中からオプションを選択します。
 - **名前**を選択します。
 - **電話番号**を選択します。
 - カテゴリを保存した位置に割り当てるには、**カテゴリ**を選択します。
 - 地図上に保存した位置をマークするために使用する記号を変更するには、**地図記号の変更**を選択します。
- 7 情報を編集します。
- 8 **OK**を選択します。

保存した位置にカテゴリを割り当てる

カスタムカテゴリを使用して保存した位置を整理できます。

注：位置を 12 件以上保存すると、カテゴリが [保存した位置]メニューに表示されます。

- 1 **目的地検索** > **保存済み**の順に選択します。
- 2 位置を選択します。
- 3 **①**を選択します。
- 4 **≡** > **編集** > **カテゴリ**の順に選択します。
- 5 1 つ以上のカテゴリ名を、カンマ区切りで入力します。
- 6 必要に応じて、カテゴリの候補を選択します。
- 7 **OK**を選択します。

保存した位置を削除する

注：削除された位置情報を復元することはできません。

- 1 **目的地検索** > **保存済み**の順に選択します。
- 2 **≡** > **保存した場所を削除**の順に選択します。
- 3 削除する保存済み位置情報にチェックをして、**削除**を選択します。

地図を使用する

地図を使用してルートのナビゲーションを行うこと (地図上のルート, 5 ページ) やアクティブなルートがないときに周囲の地図を表示することができます。

- 1 **地図表示**を選択します。
- 2 地図上の任意の場所を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - 地図をドラッグして、上下左右に回転します。
 - 拡大または縮小するには、**+**または**-**を選択します。
 - ノースアップ表示と 3D 表示を切り替えるには、**▲**を選択します。
 - 表示されたジャンル別施設をカテゴリ別にフィルタリングするには、**Q**を選択します。
 - ルートを開始するには、地図上で位置を選択し、**出発** (地図を使用してナビゲーションを開始する, 5 ページ) を選択します。

地図ツール

地図ツールを使用すると、地図を表示しながら情報やデバイスの機能にすばやくアクセスできます。地図ツールを有効化すると、地図の端にあるパネルに表示されます。

停止: アクティブルートのナビゲーションを停止します。

ルートの変更: 迂回したり、ルートの場所をスキップしたりできます。

この先: ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所を表示します (この先, 12 ページ)。

方向転換: ルートのこの先の方向転換のリストを表示します (方向転換と方向指示を表示する, 6 ページ)。

出張データ: 速度や距離など、カスタマイズできるトリップデータを表示します (地図からトリップデータを表示する, 12 ページ)。

音量: マスターオーディオ音量を調節します。

輝度: 画面の輝度を調節します。

電話: 接続されている電話の最新の通話を表示し、通話中に通話中オプションを表示します (通話中オプションを使用する, 15 ページ)。

LiveTrack: LiveTrack の共有を開始したり停止できます (LiveTrack, 18 ページ)。

トラフィック: ルート沿いまたはエリアの交通状況を表示します (進行方向の交通事故を表示する, 12 ページ)。

天気: エリアの天気状況を表示します。

photoLive: photoLive サブスクリプションからのライブトラフィックカメラを表示します (photoLive トラフィックカメラ, 20 ページ)。

カメラを通知: スピードカメラや赤信号カメラを通知できます。このツールは、デバイスにスピードカメラデータや赤信号カメラデータがあり、Smartphone Link アプリへのアクティブな接続 (電話とのペアリングと Smartphone Link への接続を行う、13 ページ)がある場合にのみ使用できます。

地図ツールを表示する

- 1 地図で を選択します。
- 2 地図ツールを選択します。
地図ツールが地図の端にあるパネルに表示されます。
- 3 地図ツールを使い終わったら、 を選択します。

地図ツールを有効にする

デフォルトでは、最も一般的に使用される地図ツールのみが [地図ツール] メニューで有効にされています。メニューには、最大 12 個のツールを追加できます。

- 1 地図で > を選択します。
- 2 追加する各ツールの横にあるチェックボックスを選択します。
- 3 保存を選択します。

この先

この先ツールは、ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所についての情報を提供します。レストラン、ガソリンスタンド、サービスエリアなど、この先のジャンル別施設を表示できます。高速道路の走行中は、高速道路標識についての情報と同様に、この先の出口や都市についての情報と利用できるサービスも表示できます。

3つのカテゴリーをこの先ツールに表示するようにカスタマイズできます。

この先の場所を表示する

- 1 地図から > この先を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - 各カテゴリーの、次のこの先の場所を表示するには、必要に応じて を選択します。
 - この先の高速道路出口や都市についての情報と利用できるサービスを表示するには、 を選択します。
注：このオプションは、高速道路走行中、またはルートに高速道路が含まれる場合にのみ利用可能です。
- 3 そのカテゴリー、出口、または都市について、場所のリストを表示する項目を選択します。

[この先] カテゴリーをカスタマイズする

この先ツールで表示する場所カテゴリーを変更できます。

- 1 地図から > この先を選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - リスト内のカテゴリーを上下に移動するには、カテゴリー名の横にある矢印を選択してドラッグします。
 - カテゴリーを変更するには、カテゴリーを選択します。
 - カスタムカテゴリーを作成するには、カテゴリーを選択して、**カスタム検索**を選択し、ビジネスまたはカテゴリーの名前を入力します。
- 5 OKを選択します。

トリップ情報

地図からトリップデータを表示する

地図上にトリップデータを表示するには、[地図ツール] メニューにこのツールを追加する必要があります (地図ツールを有効にする、12 ページ)。

地図で > 出張データを選択します。

トリップデータフィールドをカスタマイズする

トリップデータ地図ツールに表示されるデータをカスタマイズできるようにするには、まず、[地図ツール] メニューにトリップデータツールを追加する必要があります (地図ツールを有効にする、12 ページ)。

- 1 地図で > 出張データを選択します。
- 2 トリップデータフィールドを選択します。
- 3 オプションを選択します。
トリップデータ地図ツールに、新しいトリップデータフィールドが表示されます。

トリップ情報ページを表示する

トリップ情報ページには、速度が表示され、トリップに関する統計情報が表示されます。

注：経路地が多い場合はデバイスの電源をオンにしておいてください。走行中の経過時間を正確に計測できます。

地図で、**スピード**を選択します。

軌跡ログを表示する

デバイスでは、軌跡ログ (走行した経路の記録) を保持しています。

- 1 設定 > 地図 / 車両 > 地図レイヤーの順に選択します。
- 2 軌跡ログチェックボックスをオンにします。

トリップ情報をリセットする

- 1 地図で、**スピード**を選択します。
- 2 > **フィード** の以外の順に選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - 先頭ページのスピードメーター以外のデータフィールドをすべてリセットするには、ルートのナビゲーションをしていないときに、**すべて選択**を選択します。
 - トリップコンピュータの情報をリセットするには、**トリップデータの除外**を選択します。
 - 最高速度をリセットするには、**最高速度のリセット**を選択します。
 - オドメーターをリセットするには、**トリップ B のリセット**を選択します。

進行方向の交通事故を表示する

現在のルートや走行中の道路の進行方向にある交通事故を表示できます。

- 1 ナビゲーションの実行中に、 > **トラフィック**を選択します。
地図の右側にあるパネルに、進行方向で発生している交通事故のうち、最も近くにあるものが表示されます。
- 2 この交通事故を選択して、追加情報を表示します。

地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

- 1 メインメニューで、**77** **リケーション** > **トラフィック**を選択します。
- 2 必要に応じて、 > **凡例**を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

交通事故情報を検索する

- 1 メインメニューで、**77** **リケーション** > **トラフィック**を選択します。
- 2 > **事故**を選択します。
- 3 リストからアイテムを選択します。
- 4 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

地図をカスタマイズする

地図レイヤーをカスタマイズする

ジャンル別施設を表すアイコンや道路状況など、地図上に表示するデータをカスタマイズできます。

- 1 設定 > 地図 / 車両 > 地図レイヤーの順に選択します。

2 地図に表示したいレイヤーを選択し、**保存**を選択します。

地図データフィールドを変更する

1 地図からデータフィールドを選択します。

注：スピードはカスタマイズできません。

2 表示するデータの種類を選択します。

地図表示方法を変更する

1 **設定 > 地図 / 車両 > 運転地図表示**の順に選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- **トラフィック** を選択すると地図が 2D 表示され、進行方向が常に上になるように表示されます。
- **ノースアップ** を選択すると地図が 2D 表示され、北が常に上になるように表示されます。
- **3D** を選択すると地図が 3D 表示されます。

3 **保存**を選択します。

ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能

zūmo デバイスを最大限に活用するには、デバイスをスマートフォンとペアリングし、Smartphone Link アプリに接続します。Smartphone Link アプリでは、ライブトラフィックデータ、駐車場の傾向、赤信号カメラとスピードカメラなどのライブサービスのライブデータを受信できます。

ライブトラフィックデータ: 交通事故や遅延、工事ゾーン、道路閉鎖などのリアルタイムトラフィックデータをデバイスに送信します (**トラフィック**, 16 ページ)。

ライブパーキング情報: 利用できる場合、リアルタイムの駐車場の傾向をお使いのデバイスに送信します (**駐車場**, 9 ページ)。

Garmin ライブサービス: 赤信号カメラとスピードカメラ、またはトラフィックカメラなどのライブデータをデバイスに送信する、無料および有料サービスを提供します (**Garmin ライブサービス**, 13 ページ)。

天気情報: リアルタイムで気象条件とアラートをお使いのデバイスに送信します (**天気予報を表示する**, 19 ページ)。

LiveTrack: 選択した連絡先とリアルタイムでトリップを共有できます (**LiveTrack**, 18 ページ)。

スマート通知: 電話の通知とメッセージをデバイスに表示します。この機能を利用できない言語もあります。

ハンズフリー通話: デバイスを使用して電話をかけた受けたりできるほか、デバイスをハンズフリースピーカーフォンとして使用できます。

位置情報をデバイスに送信: スマートフォンから位置情報をナビゲーションデバイスに送信できます。

Foursquare チェックイン: ナビゲーションデバイスを使用して、Foursquare の場所にチェックインできます (**Foursquare によるチェックイン**, 10 ページ)。

電話とのペアリングと Smartphone Link への接続を行う

zūmo デバイスを電話機とペアリングして、Smartphone Link に接続すると、ライブトラフィックや駐車場情報、ハンズフリー通話、およびその他の接続機能などの機能を使用できます。

デバイスは、ペアリングされると、電源がオンになって範囲内にあるときに、自動的に接続されます。

1 電話のアプリストアから、Smartphone Link アプリをインストールします。

2 zūmo デバイスと電話の距離は 3 m (10 ft.) 以内になります。

3 zūmo デバイスで、**設定 > Bluetooth** を選択し、**Bluetooth チェックボックス**をオンにします。

4 **デバイスの検索**を選択します。

5 電話側で Bluetooth 無線技術を有効にして、電話を検出可能に設定します。

詳細についてはデバイスのマニュアルを参照してください。

6 zūmo デバイスで **OK** を選択します。

zūmo デバイスが近くの Bluetooth デバイスの検索を開始し、Bluetooth デバイスのリストが表示されます。電話がリストに表示されるまで、最大 1 分かかることがあります。

7 リストから電話を選択し、**OK** を選択します。

8 電話で、ペアリング要求を確認します。

9 電話で Smartphone Link アプリを開きます。

Apple®デバイスとペアリングしている場合、zūmo の画面にセキュリティコードが表示されます。

10 必要に応じて、セキュリティコードを 30 秒以内に電話に入力します。






Bluetooth 機能のステータスアイコン

ステータスアイコンは、Bluetooth 設定のペアリングされた各デバイスの横に表示されます。

設定 > Bluetooth の順に選択します。

• グレーのアイコンは、そのデバイスの機能が無効になっているか、切断されていることを示します。

• 色の付いたアイコンは、そのデバイスの機能が接続されているアクティブであることを示します。

	ハンズフリー通話
	スマート通知
	Smartphone Link の機能とサービス
	メディアストリーミング
	ヘッドセットが接続されている

Garmin ライブサービス

Garmin ライブサービスを使用する前に、デバイスを Smartphone Link に接続しておく必要があります (**電話とのペアリングと Smartphone Link への接続を行う**, 13 ページ)。

Garmin ライブサービスには、渋滞状況や天気、赤信号カメラとスピードカメラなどのライブデータをデバイスで表示するための、無料またはサブスクリプションベースプランが用意されています。

サービスの中には天気などの、デバイスで独立したアプリとして使用できるものもあります。また、ライブトラフィックなど、デバイスに存在しているナビゲーション機能を強化するサービスもあります。Garmin ライブサービスへのアクセスを必要とする機能には、Smartphone Link 記号が、デバイスが Smartphone Link に接続されている場合のみ表示されます。

Garmin ライブサービスに申し込む

一部の zūmo ライブサービスには、有料サブスクリプションが必要です。Smartphone Link アプリで、アプリ内課金で永久サブスクリプションを購入できます。サブスクリプションは、スマートフォンのアプリストアアカウントと関連付けられています。

1 スマートフォンで、Smartphone Link アプリを開きます。

2 **My Account** を選択します。

利用可能なサービスとサブスクリプション価格の一覧が表示されます。

3 サービスを選択します。

4 価格を選択します。

5 **Subscribe** を選択します。

6 画面上の指示に従って、購入を完了します。

電話とヘッドセットのペアリング

いくつかの Bluetooth 機能を使用するには、zūmo デバイスで電話と Bluetooth ヘッドセットのペアリングをする必要があります。デバイスは、ペアリングされると、電源がオンになって範囲内にあるときに、自動的に接続されます。

一部の機能を使用するには、Smartphone Link アプリが必要です。Smartphone Link アプリには、ペアリングプロセス中、または後で接続できます。

- 1 電話側で Bluetooth 無線技術を有効にして、電話を検出可能に設定します。

詳細についてはデバイスのマニュアルを参照してください。

- 2 zūmo デバイスと電話の距離は 3 m (10 ft.) 以内になるようにします。
- 3 zūmo デバイスで、**設定 > Bluetooth > **を選択します。
- 4 画面の指示に従い、デバイスに電話をペアリングします。
- 5 zūmo デバイスで  を選択します。

ヒント：最初の Bluetooth 設定画面が表示されない場合は、**設定 > Bluetooth > デバイスの検索**の順に選択して、ヘッドセットのペアリングをしてください。

- 6 画面の指示に従い、デバイスにヘッドセットをペアリングします。
- 7 電話のアプリストアから、Smartphone Link アプリをインストールして開きます (オプション)。

Apple デバイスとペアリングしている場合、zūmo の画面にセキュリティコードが表示されます。

- 8 必要に応じて、セキュリティコードを 30 秒以内に電話に入力します。

スマートフォンからデバイスに位置を送信する


電話の Smartphone Link アプリを使用して位置を検索し、zūmo デバイスに送信できます。

- 1 スマートフォンで Smartphone Link アプリを開きます。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - 近い場所を検索するには、**Find Nearby Places** を選択して、住所またはその場所の名前を完全にまたは部分的に入力します。
 - 近くにある Foursquare ジャナル別施設を検索するには、**Foursquare** を選択し、リストからジャンル別施設を選択します。
 - 地図上の場所を選択するには、**Pick Location** を選択し、マップの場所をタッチします。
 - 連絡先リストから住所を検索するには、**Search Contacts** を選択し、連絡先名を選択します。

選択された位置が地図上に表示されます。

- 3 **Send** を選択します。


Smartphone Link アプリにより、zūmo に場所が送信されます。

- 4 zūmo デバイスで、次の中からオプションを選択します。
 - その場所までのナビゲーションを開始するには、**出発**を選択します。
 - この場所の詳細を表示したり、場所をお気に入りに保存するには  を選択します。
 - ナビゲーションを開始せずに場所を受け入れるには、**OK** を選択します。

この場所は、zūmo デバイスの最近検索した場所に表示されます。

スマート通知

デバイスが Smartphone Link アプリに接続されているときは、zūmo デバイスのスマートフォンから、テキストメッセージ、着信、カレンダーの予定のような通知を表示できます。

注：ナビゲーションデバイスが Smartphone Link アプリに接続した後、ナビゲーションデバイス上で通知を受信するまで数分間待つことが必要な場合があります。スマート通知が接続され、アクティブになると、Bluetooth 設定に  が色付きで表示されます (Bluetooth 機能のステータスアイコン, 13 ページ)。

通知を受信する

⚠ 警告

運転中は通知を読んだり返信したりしないでください。

zūmo デバイスで通知を受信するには、デバイスをスマートフォンおよび Smartphone Link アプリに接続する必要があります。

デバイスがスマートフォンから通知を受信すると、ほとんどのページからポップアップが表示されます。デバイスが移動中の場合、通知を表示するには、自分が乗客であり、運転者ではないことを確認する必要があります。

注：地図を表示している場合、通知は地図ツールに表示されません。

- 通知を無視するには、**OK** を選択します。
ポップアップが閉じますが、通知は電話でアクティブのままです。
- 通知を表示するには、**表示**を選択します。
- 通知を聞くには、**表示 > 再生**の順に選択します。
デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。
- 電話からその通知を却下するなど追加アクションを実行するには、**表示**を選択してからオプションを選択します。
注：追加アクションは、一部の通知タイプでのみ利用でき、通知を生成したアプリでサポートされている必要があります。

地図の表示中に通知を受信する

⚠ 警告

運転中は通知を読んだり返信したりしないでください。

zūmo デバイスで通知を受信するには、デバイスをスマートフォンおよび Smartphone Link アプリに接続する必要があります。

地図を表示しているとき、画面の端にある地図ツールに新しい通知が表示されます。デバイスが移動中の場合、通知を表示するには、自分が乗客であり、運転者ではないことを確認する必要があります。

- 通知を無視するには、**[X]** を選択するか、ポップアップの期限が切れるまで待ちます。
ポップアップが閉じますが、通知は電話でアクティブのままです。
- 通知を表示するには、通知テキストを選択します。
- 通知を聞くには、**メッセージを再生**を選択します。
デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。
- 電話からその通知を却下するなど追加アクションを実行するには、**表示**を選択してからオプションを選択します。
注：追加アクションは、一部の通知タイプでのみ利用でき、通知を生成したアプリでサポートされている必要があります。

通知のリストを表示する

すべてのアクティブな通知のリストを表示できます。

- 1 **アプリケーション > スマート通知**の順に選択します。
通知のリストが表示されます。未読の通知は黒で表示され、以前に読まれた通知はグレーで表示されます。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - 通知を表示するには、通知の説明を選択します。
 - 通知を聞くには、**▶** を選択します。

デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。

ハンズフリー通話

注：ほとんどの携帯電話とヘッドセットは対応しており使用できますが、特定の携帯電話やヘッドセットの使用は保証できません。

ん。お使いの携帯電話では、一部の機能が利用できない場合があります。

Bluetooth 無線技術を使用すると、デバイスを携帯電話とワイヤレスヘッドセットまたはヘルメットに接続し、ハンズフリーデバイスとして使用することができます。お使いの Bluetooth 技術搭載デバイスがデバイスに対応しているかどうかを確認するには、www.garmin.com/bluetooth を参照してください。

電話をかける

番号をダイヤルする

- 1 **77** リケーション > **電話** > **ダイヤル** の順に選択します。
- 2 番号を入力します。
- 3 **ダイヤル** を選択します。

電話帳の連絡先に電話をかける

電話とデバイスが接続されるたびに電話帳が電話からデバイスにロードされます。電話帳が利用可能になるまでに数分かかることがあります。一部の電話機ではこの機能はサポートされていません。

- 1 **77** リケーション > **電話** > **電話帳** の順に選択します。
- 2 連絡先を選択します。
- 3 **通話** を選択します。

施設に電話をかける

- 1 **77** リケーション > **電話** > **カテゴリを参照** の順に選択します。
- 2 ジャンル別施設を選択します。
- 3 **通話** を選択します。

電話を受ける

電話がかかってきたときには、**回答** または **無視** を選択します。

通話履歴を使用する

電話とデバイスが接続されるたびに通話履歴が電話からデバイスにロードされます。通話履歴が利用可能になるまでに数分かかることがあります。一部の電話機ではこの機能はサポートされていません。

- 1 **77** リケーション > **電話** > **通話履歴** の順に選択します。
- 2 **カテゴリ** を選択します。
通話の一覧が表示されます。最新の通話が一番上です。
- 3 **通話** を選択します。

通話中オプションを使用する

通話中に、地図から通話中オプションを選択できます。

- 音声の出力先を電話に切り替えるには、**1** を選択します。
ヒント：この機能は、通話中にデバイスの電源をオフにする場合やスピーカーでなく電話で話したい場合に使用します。
- ダイヤルパッドを使用するには、**☰** を選択します。
ヒント：この機能を使用して、留守番電話などの自動システムを使用できます。
- マイクをミュートするには、**🔇** を選択します。
- 電話を切るには、**📞** を選択します。

自宅の電話番号を保存する

ヒント：自宅の電話番号を保存した後で、この番号を編集するには、保存した位置リストにある「自宅」を編集します（[保存した位置を編集する](#)、11 ページ）。

- 1 **77** リケーション > **電話** > **☰** > **自宅電話番号の設定** の順に選択します。
- 2 電話番号を入力します。
- 3 **OK** を選択します。

自宅に電話をかける

自宅に電話をかける前に、自宅の電話番号を入力する必要があります。

77 リケーション > **電話** > **自宅へ電話** の順に選択します。

Apple デバイス用に Bluetooth 機能をセットアップする

デフォルトでは、電話をペアリングしたとき、互換性のあるすべての Bluetooth 機能が有効になっています。特定の機能を有効にしたり、無効にしたり、カスタマイズしたりできます。

Apple デバイスの Smartphone Link アプリに接続する

Smartphone Link アプリに接続するには、zūmo デバイスを電話とペアリングして接続する必要があります。

ペアリングプロセス中に Smartphone Link アプリに接続しなかった場合は、接続すると、追加の Bluetooth 機能を利用できません。Smartphone Link アプリは Bluetooth Smart 技術を利用して電話と通信します。Apple デバイス上の Smartphone Link アプリに初めて接続するときは、Bluetooth Smart のセキュリティコードを入力する必要があります。

- 1 スマートフォンのアプリストアから、Smartphone Link アプリをインストールします。

注：スマートフォンのオペレーティングシステムを最新バージョンに更新することが必要になる場合があります。

- 2 スマートフォンで Smartphone Link アプリを開きます。
zūmo デバイスの画面に、セキュリティコードが表示されます。
- 3 スマートフォンでコードを入力します。

Apple デバイスのハンズフリー通話を無効にする

ハンズフリー通話を無効にしても、Smartphone Link のデータと通知のために電話に接続したままにすることができます。

- 1 **設定** > **Bluetooth** の順に選択します。
- 2 ハンズフリー通話に使用する電話名を選択します。

ヒント：電話では、異なる 2 つの名前を使用してハンズフリー通話とデータに接続することがあります。ハンズフリー通話に使用する電話名の横に、色の付いた **📞** が表示されます。

- 3 **通話** チェックボックスをオフにします。

Apple デバイスの Smartphone Link のデータとスマート通知を無効にする

Smartphone Link のデータとスマート通知を無効にしても、ハンズフリー通話のために電話に接続したままにすることができます。

- 1 **設定** > **Bluetooth** の順に選択します。
- 2 Smartphone Link のデータと通知に接続する電話名を選択します。

ヒント：お使いの電話は、異なる 2 つの名前を使用してハンズフリー通話およびデータに接続することがあります。データと通知に使用する電話名の横に **📞** と **📶** が青で表示されます。

- 3 スマートフォンサービスチェックボックスをオフにします。

Apple デバイスの通知カテゴリを表示または非表示にする

カテゴリを表示または非表示にして、デバイスに表示される通知をフィルタリングできます。

- 1 **設定** > **Bluetooth** の順に選択します。
- 2 Smartphone Link のデータと通知に接続する電話名を選択します。

ヒント：お使いの電話は、異なる 2 つの名前を使用してハンズフリー通話およびデータに接続することがあります。データと通知に使用する電話名の横に **📞** と **📶** が色付きで表示されます。

- 3 **スマート通知** を選択します。
- 4 表示する各通知の横にあるチェックボックスをオンにします。

Android™が搭載されたスマートフォンのBluetooth機能をセットアップする

デフォルトでは、電話をペアリングしたとき、互換性のあるすべてのBluetooth機能が有効になっています。特定の機能を有効にしたり、無効にしたり、カスタマイズしたりできます。

AndroidスマートフォンのSmartphone Linkアプリに接続する

Smartphone Linkアプリに接続するには、zūmoデバイスを電話とペアリングして接続する必要があります。

ペアリングプロセス中にSmartphone Linkアプリに接続しなかった場合は、接続すると、追加のBluetooth機能を利用できません。

- 1 電話のアプリストアから、Smartphone Linkアプリをインストールします。
- 2 電話でSmartphone Linkアプリを開きます。

Androidが搭載されたスマートフォンのBluetooth機能を無効にする

特定のBluetooth機能を無効にしても、他の機能には接続したままにすることができます。

- 1 設定 > Bluetooth の順に選択します。
- 2 電話名を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ハンズフリー通話を無効にするには、**通話**チェックボックスをオフにします。
 - Smartphone Link のデータとスマート通知を無効にするには、**Smartphone Link** チェックボックスをオフにします。
 - 特定のアプリ通知を無効にするには、Smartphone Link アプリの設定を使用します。

Androidが搭載されたスマートフォンの通知を表示または非表示にする

Smartphone Linkアプリを使用して、zūmoデバイスに表示する通知の種類を選択できます。

- 1 電話でSmartphone Linkアプリを開きます。
- 2 **⚙** を選択します。
- 3 **Smart Notifications** チェックボックスがオンになっていることを確認します。
- 4 **通知セクション** から、**Settings** を選択します。通知カテゴリとアプリのリストが表示されます。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - 通知を有効または無効にするには、カテゴリまたはアプリ名の横にある切り替えスイッチを選択します。
 - リストにアプリを追加するには、**+** を選択します。

Bluetoothデバイスの取り外し

ペアリングされているデバイスのリストから削除しないで、Bluetoothデバイスを一時的に取り外すことができます。Bluetoothデバイスはzūmoデバイスに後で自動的に接続できます。

- 1 設定 > Bluetooth の順に選択します。
- 2 接続を解除するデバイスを選択します。
- 3 ペアリングされているデバイスの名前の横にあるチェックボックスをオフにします。

ペアリングした電話を削除する

ペアリングした電話とのペアリングを解除して、今後自動的にデバイスに接続できないようにできます。

- 1 設定 > Bluetooth の順に選択します。
- 2 電話を選択して、**ペアリングの解除**を選択します。

トラフィック

注記

Garmin は交通情報の正確性または適時性について責任を負いません。

お使いのデバイスは、この先の道路やルート上の渋滞に関する情報を提供できます。アクティブルートで大きな交通遅延状態が発生した場合は、ルートの計算時に渋滞を回避して、目的地への新しいルートを発見するようにデバイスを設定できます(トラフィック設定, 21 ページ)。交通渋滞地図を使用すると、地域の交通遅延の地図を参照できます。

交通情報を提供するには、デバイスがトラフィックデータを受信している必要があります。

- お使いのデバイスは Smartphone Link アプリを介して無料のトラフィックデータを受信します (Smartphone Link を使用してトラフィックデータを受信する, 16 ページ)。
- すべての製品モデルは、無線トラフィックレシーバーケーブルアクセサリを使用して、トラフィックデータを受信できます (トラフィックレシーバーを使用してトラフィックデータを受信する, 16 ページ)。garmin.com で製品のページに移動し、互換性のあるトラフィックレシーバーケーブルアクセサリを検索して購入します。

トラフィックデータを利用できない地域もあります。トラフィック情報を利用できる地域については、www.garmin.com/traffic を参照してください。

Smartphone Link を使用してトラフィックデータを受信する

お使いのデバイスは、Smartphone Link アプリを介して無料のトラフィックデータを受信できます。

- 1 デバイスを Smartphone Link に接続します (電話とのペアリングと Smartphone Link への接続を行う, 13 ページ)。
- 2 zūmo デバイスで、設定 > **トラフィック** の順に選択し、**トラフィック**チェックボックスがオンになっていることを確認します。

トラフィックレシーバーを使用してトラフィックデータを受信する

注記

ヒーター付き (熱線付き) フロントガラスは、交通情報受信機の性能を低下させることがあります。

トラフィックレシーバーは、利用可能な場合、無線ブロードキャスト信号からトラフィックデータを受信します。無線トラフィックレシーバーケーブルはすべての製品モデルでアクセサリとして使用できます。garmin.com で製品のページに移動し、互換性のあるトラフィックレシーバーケーブルアクセサリを検索して購入します。トラフィックデータを利用できない地域もあります。

トラフィックレシーバーケーブルを使用してデバイスを車両電源に接続します (自動車にデバイスを取り付ける, 2 ページ)。

ユーザーがトラフィック情報を利用できる地域にいれば、デバイスはトラフィック情報を表示でき、交通遅延の回避に役立ちます。

トラフィックレシーバーサブスクリプション

地域のトラフィックデータサブスクリプションは、ほとんどのトラフィックレシーバーに付属しています。追加の地域のサブスクリプションをトラフィックレシーバーに追加できます。詳細については、garmin.com/traffic を参照してください。

トラフィックサブスクリプションを表示する

設定 > **トラフィック** > **購読** の順に選択します。

サブスクリプションを追加する

他の地域または国のトラフィックサブスクリプションを購入することができます。

- 1 メインメニューで、**トラフィック**を選択します。
- 2 **購読** > **+** を選択します。
- 3 FMトラフィックレシーバーのユニット ID を書き留めます。
- 4 サブスクリプションを購入するには、www.garmin.com/fmtraffic にアクセスして 25 文字のコードを取得してください。
トラフィックサブスクリプションコードは再使用できません。サービスを更新するたびに新しいコードを取得する必要があります。複数の FMトラフィックレシーバーを持っている場合は、レシーバーそれぞれに個別のコードを取得する必要があります。
- 5 デバイスで **次へ** を選択します。
- 6 コードを入力します。
- 7 **OK** を選択します。

トラフィックを有効にする

トラフィックデータを有効または無効にできます。

- 1 **設定** > **トラフィック** の順に選択します。
- 2 **トラフィック** チェックボックスをオンにします。

地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

- 1 メインメニューで、**アプリアクション** > **トラフィック** を選択します。
- 2 必要に応じて、**≡** > **凡例** を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

交通事故情報を検索する

- 1 メインメニューで、**アプリアクション** > **トラフィック** を選択します。
- 2 **≡** > **事故** を選択します。
- 3 リストからアイテムを選択します。
- 4 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

アプリケーションを使用する

デバイスのマニュアルの表示

デバイス画面では、多くの言語の完全なマニュアルを表示できません。

- 1 **アプリアクション** > **マニュアル** の順に選択します。
マニュアルはソフトウェアの言語と同じ言語で表示されます。
- 2 **[Q]** を選択してマニュアルを検索します (オプション)。

トリッププランナー

トリッププランナーを使用し、トリップを作成して保存し、あとで操作することができます。配達ルート、休暇、またはドライブの計画に便利です。保存したトリップを編集して、場所の並べ替え、経由地の順序の最適化、アトラクションの提案の追加、およびシェイピングポイントの追加など、さらにカスタマイズできます。

トリッププランナーを使用して、アクティブルートを編集し保存することもできます。

トリップを計画する

1回のトリップに多数の目的地を含めることができ、少なくとも出発地と1つの目的地は含める必要があります。出発地は、トリップの開始を計画している場所です。トリップのナビゲーションを別の場所から開始する場合、デバイスで最初に出発地に向かうオプションを選択できます。往復する場合は、出発地と最終目的地を同じにすることができます。

- 1 **アプリアクション** > **トリッププランナー** > **新規トリップの作成** の順に選択します。
- 2 **出発地の選択** を選択します。
- 3 始点を指定し、**選択** を選択します。
- 4 **目的地の選択** を選択します。
- 5 目的地の場所を指定し、**選択** を選択します。
- 6 **場所の追加** を選択して、その他の場所を追加します (オプション)。
- 7 必要な場所をすべて追加したら、**次へ** > **保存** の順に選択します。
- 8 名前を入力し、**OK** を選択します。

トリップの場所を編集および並べ替える

- 1 **アプリアクション** > **トリッププランナー** > **保存されたトリップ** の順に選択します。
- 2 保存されているトリップを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - 場所を上下に移動するには、**↕** を選択し、場所をトリップの新しい位置にドラッグします。
 - 選択した場所の後に新しい場所を追加するには、**+** を選択します。
 - 場所を削除するには、**✖** を選択します。

トリップの目的地の順序を最適化する

デバイスは、トリップの目的地の順序を自動的に最適化して、距離が短く、効率的なルートを作成します。順序を変更しても出発地と最終目的地は変更されません。

トリップを編集するときは、**↶** > **順序の最適化** を選択します。

トリップの経路にあるアトラクションの発見

トリップに追加できる興味深いアトラクションや人気のアトラクションが提案されます。

- 1 トリップの編集集中に、**↶** > **アトラクションの提案** を選択します。
- 2 アトラクションを選択すると、詳細情報が表示されます。
- 3 **選択** を選択してアトラクションをトリップに追加します。

トリップのルート探索オプションを変更する

トリップを開始するとき、デバイスがルートを計算する方法をカスタマイズできます。

- 1 **アプリアクション** > **トリッププランナー** > **保存されたトリップ** の順に選択します。
- 2 保存されているトリップを選択します。
- 3 車両プロファイルアイコンを選択し、トリップのナビゲーション中の使用を予定している車両を選択します (オプション)。
- 4 **↶** を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - トリップにシェイピングポイントを追加するには、**ルートを形成する** を選択し、画面に表示される指示に従います。
 - トリップの計算モードを変更するには、**ルート探索方法** を選択します (**ルート探索方法を変更する**, 5 ページ)。

保存されているトリップをナビゲーションする

- 1 **アプリアクション** > **トリッププランナー** > **保存されたトリップ** の順に選択します。
- 2 保存されているトリップを選択します。
- 3 **出発** を選択します。
- 4 ナビゲーション先の最初の位置を選択し、**開始** を選択します。
デバイスは、現在地から選択した位置へのルートを計算し、残りのトリップ目的地に順番に案内します。

アクティブルートを編集および保存する

ルートがアクティブな場合、トリッププランナーを使用し、トリップとしてルートを編集および保存できます。

- 1 **77** リケーション > トリッププランナー > **マイアクティブ** ルートの順に選択します。
- 2 いずれかのトリッププランナー機能を使用して、ルートを編集します。
ルートは変更を加えるごとに再計算されます。
- 3 トリップとしてルートを保存するには、**保存**を選択します。
ナビゲーションは後で再開できます (オプション)。

ルートを共有する

他の zūmo デバイスとルートを共有できます。

- 1 **77** リケーション > **ルートを共有**の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - Smartphone Link を使用してルートを共有するには、**Smartphone Link** を選択します。
 - Bluetooth 接続を使用してルートを共有するには、**Bluetooth** を選択します。
 - ルートを microSD カードにコピーするには、**メモ리카ード** を選択します。
- 3 ルートを選択します。
- 4 OK を選択します。
- 5 zūmo デバイスの画面の指示に従って、共有の処理を完了します。

LiveTrack

注記

位置情報を他の人と共有する際には注意してください。

LiveTrack 機能を使用すると、トリップをスマートフォンの連絡先および Facebook や Twitter ソーシャルネットワーキングアカウントと共有することができます。共有中、視聴者は現在の場所、最近訪問した場所、最近走行した経路をリアルタイムで追跡できます。

この機能では、スマートフォンで Smartphone Link アプリを実行している必要があります。

LiveTrack で共有をセットアップして視聴者を招待する

LiveTrack 機能を初めて使用するときは、機能をセットアップして視聴者を招待する必要があります。

- 1 **Smartphone Link** に接続します (電話とヘッドセットのペアリング, 13 ページ)。
- 2 スマートフォンで、Smartphone Link アプリを開き、**LiveTrack** を選択します。
- 3 ユーザー名を入力し、次へを選択します。
- 4 招待する 1 つ以上の連絡先を入力します。
連絡先の名前またはメールアドレスを入力できます。
- 5 **LiveTrack を開始**を選択します。
アプリは、LiveTrack データの共有を開始します。招待された視聴者は、LiveTrack データを表示するリンクを含むメールを受信します。
- 6 [↑] を選択し、ソーシャルネットワーク、メッセージングアプリまたはその他の共有アプリ (オプション) を使用して LiveTrack リンクを共有します。

LiveTrack 共有の開始

注記


位置情報を他の人と共有する際には注意してください。

共有を開始する前に、LiveTrack 機能 (**LiveTrack で共有をセットアップして視聴者を招待する**, 18 ページ) を設定する必要があります。

お使いの zūmo デバイスまたは Smartphone Link アプリを使用して、LiveTrack データ共有を開始できます。

- zūmo デバイスで、**77** リケーション > **LiveTrack** > **LiveTrack を開始**の順に選択します。
- スマートフォンで、Smartphone Link アプリを起動し、**LiveTrack > LiveTrack を開始**の順に選択します。

LiveTrack データを表示するリンクが有効化したソーシャルネットワークアカウントに投稿され、リンクが記載されたメールが招待した連絡先に送信されます。共有中、リンクをクリックすると閲覧者は現在地、最近訪れた場所、および最近のトラベルの経路をリアルタイムでトラッキングできます。

LiveTrack 共有がアクティブになると、zūmo ステータスバーに  が表示されます。招待された閲覧者の数も表示されます。

ヒント：デフォルトでは、24 時間後に LiveTrack 共有セッションが自動的に終了します。Smartphone Link アプリで、**LiveTrack > Extend LiveTrack** を選択して LiveTrack 共有セッションの時間を延長することも、共有をいつでも停止することもできます。

LiveTrack 共有の停止

お使いの zūmo デバイスまたは Smartphone Link アプリを使用して、LiveTrack 共有をいつでも停止できます。


- zūmo デバイスで、**77** リケーション > **LiveTrack** > **LiveTrack を停止**の順に選択します。
- スマートフォンで、Smartphone Link アプリを起動し、**LiveTrack > LiveTrack を停止**の順に選択します。

閲覧者には LiveTrack セッションが終了したことを知らせるメッセージが送信され、ロケーションをトラッキングできなくなります。

トラック

トラックとは、バスの記録です。トラックログには、時刻、場所、高度情報など、記録されたバスについての情報が含まれています。

トラック情報を表示 / 保存する

- 1 **77** リケーション > **トラック** > **アクティブ**を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - すべてのトラック区間を表示するには、**すべての区間**を選択します。
 - 特定のトラック区間を表示するには、区間を選択します。
トラックが地図上に表示されます。
- 3  を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - トラックを保存するには、**トラックを保存する**を選択します。
 - トラックをトリップとして保存するには、**トリップとして保存**を選択します。
 - トラックの高度プロットを表示するには、**高度プロファイル**を選択します。


メディアプレイヤー

メディアプレイヤーでは、以下のソースから音楽またはオーディオを再生できます。

- zūmo デバイスに保存されている音楽ファイル。
- ペアリングされた電話からの Bluetooth オーディオ。
- Pandora® インターネットラジオ。

マップにメディアプレイヤーツールを追加する

メディアプレイヤーマップツールを使用すると、マップからメディアプレイヤーをコントロールできます。

- 1 **設定** > **地図 / 車両** > **地図ツール** > **メディアプレイヤー**の順に選択します。
- 2 マップを開きます。
- 3  > **メディアプレイヤー** を選択します。

マップにメディアプレイヤーのコントロールが表示され
ます。

メディアソースを変更する

メディアの再生元のソースをデバイスで変更できます。

- 1 **77** リケーション > **メディアプレイヤー** > **:** の順に選択します。
- 2 メディアソースを選択します。

Pandora サービス

Pandora は、簡単に際限なく音楽の楽しみを見つけられる、無償のパーソナライズされたラジオです。Pandora の統合には、Pandora アプリケーションがインストールされた、互換性のあるモバイルデバイスが必要です。互換性のあるモバイルデバイスの詳細については、www.pandora.com/everywhere/mobile にアクセスしてください。

注：Pandora は、現在、米国、オーストラリア、およびニュージーランドでご利用いただけます。

Pandora アプリケーションのダウンロード

デバイスで Pandora サービスを利用する前に、Pandora アプリをスマートフォンにダウンロードしてインストールする必要があります。

- 1 互換性のあるスマートフォンで、アプリケーションストアを開き、Pandora を検索します。
- 2 Pandora アプリをインストールします。

詳細については、スマートフォンまたはモバイルメディアのマニュアルを参照してください。

Pandora を使用する

Pandora サービスを使用する前に、互換性のあるスマートフォンをデバイスとペアリングする必要があります ([電話とヘッドセットのペアリング](#), 13 ページ)。

- 1 デバイスで **77** リケーション > **Pandora®** を選択します。
- 2 互換性のあるスマートフォンをデバイスに接続します。
- 3 スマートフォンで Pandora アプリケーションを起動します。
- 4 zūmo デバイスで、次の中からオプションを選択します。
 - 曲を再生するには、▶ を選択します。
 - 曲を一時停止するには、|| を選択します。
 - 曲をスキップするには、▶▶ を選択します。
 - 曲が気に入った場合、👍 を選択すると、同様の曲をさらに聞くことができます。
 - 曲が気に入らない場合、👎 を選択すると、今後再生されないようになります。

ステーションを変更する

- 1 **77** リケーション > **Pandora®** を選択します。
- 2 Q を選択します。
- 3 ステーションを選択します。

コンパスを使用する

注：方向を判断するには、コンパスを呼び出す必要があります。GPS コンパスを使用してナビゲーションを実行できます。

77 リケーション > **コンパス** の順に選択します。

TracBack®

最近のトラックを辿る

TracBack 機能は、移動の最近のセグメントを記録します。最近のトラックを利用して、以前の場所まで戻ることができます。

- 1 **77** リケーション > **TracBack** の順に選択します。

地図上に最近のトラックが表示されます。
- 2 **出発** を選択します。

最近のトラックをトリップとして保存する

最近のトラックをトリップとして保存し、あとでトリッププランナーを使用して操作することができます ([「保存されているトリップをナビゲーションする](#), 17 ページ)。

- 1 **TracBack** を選択します。

地図上に最近のトラックが表示されます。
- 2 **≡** > **トリップとして保存** の順に選択します。
- 3 名前を入力し、**OK** を選択します。

天気予報を表示する

この機能を使用するには、デバイスで天気予報データを受信している必要があります。デバイスを Smartphone Link アプリに接続して、天気予報データを受信できます ([電話とのペアリングと Smartphone Link への接続を行う](#), 13 ページ)。

- 1 **77** リケーション > **天気** を選択します。

デバイスは、現在の天気概況と今後数日間の予報を表示します。
- 2 曜日を選択します。

選択した曜日の詳細な天気予報が表示されます。

別の都市周辺の天気を表示する

- 1 **77** リケーション > **天気** > **現在地** の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - お気に入りの都市の天気を表示するには、リストの都市を選択します。
 - お気に入りの都市を追加するには、**都市の追加** を選択し、都市名を入力します。

気象観測レーダーを表示する

この機能を使用する前に、スマートフォンリンクを使用して、詳細な天気予報サービスを購入する必要があります。

地図上に現在の天候が色分けされたアニメーションで表示され、天気アイコンも表示されます。天気アイコンが、雨、雪、雷雨など、近隣の天候の表示に変化します。

- 1 **77** リケーション > **天気** を選択します。
- 2 必要に応じて、都市を選択します。
- 3 **≡** > **気象観測レーダー** を選択します。

気象警報を表示する

この機能を使用する前に、Smartphone Link を使用して、詳細な天気予報サービスを購入する必要があります。

注：この機能を利用できない地域もあります。

デバイスと共に移動中に、気象警報が地図上に表示されることがあります。また、現在地または選択した都市周辺の気象警報の地図を表示することもできます。

- 1 **77** リケーション > **天気** を選択します。
- 2 必要に応じて、都市を選択します。
- 3 **≡** > **気象警報** の順に選択します。

道路状況を確認する

この機能を使用する前に、スマートフォンリンクを使用して、詳細な天気予報サービスを購入する必要があります。

- 1 **77** リケーション > **天気** を選択します。
- 2 必要に応じて、都市を選択します。
- 3 **≡** > **道路状況** を選択します。

往復のルートを作成する

デバイスでは、指定された出発地と距離、期間、または目的地を使用して、往復のルートを作成できます。

- 1 メイン画面から、**77** リケーション > **Round Trip** の順に選択します。
- 2 **出発地** を選択します。
- 3 **位置** を選択し、**選択** を選択します。

- トリップの属性を選択します。
- 次の中からオプションを選択します。
 - 距離によりルートを計画するには、**距離の選択**を選択します。
 - 時間に基づいてルートを計画するには、**期間の選択**を選択します。
 - 指定された場所に基づいてルートを計画するには、**目的地の選択**を選択します。
- 距離、期間、または目的地を入力します。
- 次の中からオプションを選択します。
 - 距離または期間を入力した場合、**OK > 計算**の順に選択します。
 - 距離を選択した場合は、**選択**を選択します。
- ルートを選択し、**出発**を選択します。

photoLive トラフィックカメラ

この機能を使用する前に、Smartphone Link に接続する必要があります。また、photoLive サービスにサブスクライブする (Garmin ライブサービスに申し込む, 13 ページ) 必要があります。photoLive トラフィックカメラは、主要な道路および交差点の交通状況をライブ画像で提供します。

photoLive サービスを利用できない地域もあります。

photoLive トラフィックカメラの表示と保存

周辺のトラフィックカメラのライブ画像を表示できます。頻繁に訪れるエリアのトラフィックカメラを保存することもできます。


- アプリアクション > photoLive の順に選択します。
- 触れて追加を選択します。
- 道路を選択します。
- トラフィックカメラの場所を選択します。

カメラからのライブ画像のプレビューが、カメラの設置場所の地図の横に表示されます。画像プレビューを選択すると、フルサイズの画像を表示できます。
- 保存を選択して、カメラを保存します (オプション)。

photoLive アプリのメイン画面にカメラのサムネイル画像プレビューが追加されます。

地図上に photoLive トラフィックカメラを表示する

photoLive 地図ツールには、進行方向のトラフィックカメラが表示されます。

- 地図で、 > photoLive を選択します。

通りの進行方向にある最も近いトラフィックカメラからのライブ画像が表示されます。カメラまでの距離も表示されます。カメラを通過すると、次のカメラのライブ画像がロードされます。
- その通りにカメラが見つからない場合、**カメラを探す**を選択して、周辺のトラフィックカメラを表示または保存します (オプション)。

トラフィックカメラを保存する

- アプリアクション > photoLive を選択します。
- 触れて追加を選択します。
- 道路を選択します。
- 交差点を選択します。
- 保存を選択します。

前のルートと目的地を表示する

この機能を使用する前に、走行履歴機能を有効にする必要があります (デバイスおよびプライバシー設定, 21 ページ)。

前のルートと停止した場所を地図上に表示することができます。

アプリアクション > 目的地の履歴を選択します。

地図および車両設定

設定 > 地図 / 車両の順に選択します。

車両: 地図上で自分の位置を示す車両アイコンを設定します。

運転地図表示: 地図の表示方法を設定します。

詳細度: 地図の詳細度を設定します。詳細度が高いほど、地図の描画に時間がかかることがあります。

地図テーマ: 地図データの色を変更します。

地図ツール: 地図のツールメニューに表示するショートカットを設定します。

地図レイヤー: 地図ページに表示するデータを設定します (地図レイヤーをカスタマイズする, 12 ページ)。

自動ズーム: 地図の使用に最適なズームレベルが自動的に選択されます。無効にすると、ズームインまたはズームアウトを手動で行う必要があります。

[次の経由地] のスキップの確認: ルート上の場所をスキップするときに表示される確認メッセージを設定します。

マイマップ: デバイスで使用されるインストール済み地図を設定します。

地図を有効にする

デバイスにインストールされている地図製品を有効にすることができます。

ヒント: 追加の地図製品を購入するには、<http://buy.garmin.com> にアクセスしてください。

- 設定 > 地図 / 車両 > マイマップの順に選択します。
- 地図を選択します。

ナビゲーション設定

設定 > ナビゲーションを選択します。

ルートのプレビュー: ナビゲーションを開始すると、ルートの幹線道路のプレビューを表示します。

計算モード: ルート計算方法を設定します。

Garmin Adventurous Routing™: 曲がりくねった道路、丘、高速道路をナビゲートするためのルート探索方法を設定します。

オフルート再計算: アクティブルートから外れた時に行う再計算の環境設定を設定します。

回避: ルート上で回避する道路の特徴を設定します。

カスタム回避: 特定の道路や地域を回避することができます。

有料道路: 有料道路を回避する環境設定を設定します。

通行料金: 有料道路と料金ステッカーを回避する環境設定を設定します。

注: この機能を利用できない地域もあります。

制限モード: 運転中に注意散漫になって事故を招く恐れのあるすべてのデバイス機能が無効になります。

GPS シミュレーター: デバイスによる GPS 信号の受信を停止し、バッテリーを節約します。

計算モードの設定

設定 > ナビゲーション > 計算モードの順に選択します。

ルート計算モードは、道路の速度データや車両の加速率に基づいています。

時間優先: 一番早く目的地に到達できるルートを計算しますが、走行距離は長くなることがあります。

距離優先: 走行距離が短くなるようにルートを計算しますが、走行時間は長くなることがあります。

直行: 現在地から目的地までの直線距離を計算します。

Garmin Adventurous Routing™: カーブの多い道を含むルートを計算します。

注: この機能を利用できない地域もあります。

シミュレートされた場所を設定する

屋内にいる場合、または衛星信号を受信していない場合、GPS シミュレータを使用してシミュレートした場所からルートを計画することができます。

- 1 **設定** > **ナビゲーション** > **GPS シミュレーター** を選択します。
- 2 メインメニューで、**地図表示** を選択します。
- 3 地図を 2 回タップして、エリアを選択します。
この位置の住所が画面の下部に表示されます。
- 4 位置の説明を選択します。
- 5 **現在地変更** を選択します。

Bluetooth 設定

設定 > **Bluetooth** の順に選択します。

Bluetooth: Bluetooth 無線技術を有効にします。

デバイスの検索: 周辺にある Bluetooth 搭載デバイスを検索します。

フレンドリー名: Bluetooth 無線技術で、デバイスの識別に使用されるわかりやすい名前を入力します。

Wi-Fi®設定

ワイヤレスネットワークの設定では、Wi-Fi ネットワークを管理できます。

設定 > **Wi-Fi** の順に選択します。

Wi-Fi: Wi-Fi 無線を有効にします。

保存済みネットワーク: 保存済みネットワークを編集または削除できます。

ネットワークを検索: 近くの Wi-Fi ネットワークを検索します (Wi-Fi ネットワークへの接続, 22 ページ)。

運転者支援の設定

設定 > **安全運転支援** の順に選択します。

オーディブル運転者アラート: 運転者アラートの種類ごとに警告音を設定できます (運転者への注意喚起の機能とアラート, 4 ページ)。

スピード超過アラート: 制限速度を超えている場合には、警告を發します。

疲労警告: 休憩なしに長時間運転を続けると警告します。

自動事故検出: デバイスが車両事故の可能性を検出できるようにします。

事故通知: デバイスが車両事故を検出したときに通知する連絡先を設定できます。

スピードカメラアラート: スピードカメラや赤信号カメラに近づいたときに警告します。

ディスプレイ設定

設定 > **表示** の順に選択します。

デザイン: 昼または夜のカラーモードを選択できます。自動オプションを選択すると、時刻により昼または夜のカラーが自動的に切り替わります。

輝度: ディスプレイの輝度を調節できます。

ディスプレイ省電力モード: バッテリー電源の使用時にデバイスがスリープモードに移行するまでのアイドル時間を設定できます。

キャプチャ: デバイス画面の画像を撮影できます。スクリーンショットは、デバイスの Screenshot フォルダに保存されません。

トラフィック設定

メインメニューで、**設定** > **トラフィック** の順に選択します。

トラフィック: トラフィックを有効にします。

現在のプロバイダ: トラフィックデータに使用するトラフィックプロバイダを設定します。自動オプションでは、利用可能な最適なトラフィックデータが自動的に選択されます。

購読: 現在のトラフィックサブスクリプションをリスト表示します。

最適なルート: 最適な代替ルートを自動的に、または要求に応じて使用できるようにします (ルート上の交通遅延を回避する, 7 ページ)。

交通アラート: 交通アラートを表示する交通遅延状態の程度を設定します。

単位および時間設定

単位および時間設定ページを開くには、メインメニューで、**設定** > **単位 / 時間** の順に選択します。

現在の時刻: デバイスの時間を設定します。

時刻の形式: 表示時間に 12 時間、24 時間、または UTC を選択できます。

単位: 距離の測定に使用する単位を設定します。

位置フォーマット: 地理座標に使用する座標形式とデータを設定します。

時間を設定する

- 1 メインメニューから時間を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - GPS 情報を使用して自動的に時間を設定するには、**自動** を選択します。
 - 時間を手動で設定するには、数字を上下にドラッグします。

言語およびキーボード設定

[言語およびキーボード設定] を開くには、メインメニューから**設定** > **言語 / キーボード** を選択します。

音声言語: 音声案内の言語を変更します。

テキスト言語: 画面に表示されるすべてのテキストを、選択された言語に変更します。

注: テキスト言語を変更しても、ユーザー入力データまたは通り名などの地図データの言語は変更されません。

キーボード言語: キーボード言語を有効にします。

デバイスおよびプライバシー設定

設定 > **デバイス** の順に選択します。

バージョン情報: ソフトウェアバージョン番号、ユニット ID 番号、その他の複数のソフトウェア機能についての情報を表示します。

法規: 規制のマーキングおよび情報を表示します。

EULA: エンドユーザー使用許諾契約を表示します。

注: システムソフトウェアの更新または追加地図データの購入時に、この情報が必要となります。

デバイスデータの報告: デバイスの機能を向上するために匿名データを共有します。

走行履歴: デバイスで myTrends 目的地の履歴、および軌跡ログ機能に関する情報を記録します。

走行履歴の消去: myTrends 目的地の履歴、および軌跡ログ機能から走行履歴を消去します。

設定を初期化する

設定のカテゴリまたはすべての設定を工場出荷時の初期設定値に戻すことができます。

- 1 **設定** を選択します。
- 2 必要に応じて、設定のカテゴリを選択します。
- 3 **≡** > **初期化** の順に選択します。

デバイス情報

規制およびコンプライアンス情報の表示

- 1 設定メニューから、メニューの下部にスワイプします。
- 2 **デバイス > 法規**の順に選択します。

仕様

耐水性	IEC 60529 IPX7 ¹
動作温度範囲	-20° ~ 55°C (-4° ~ 131°F)
充電温度範囲	0° ~ 45°C (32° ~ 113°F)
電源入力 (自動車用電源ケーブル、自動二輪車、または外部電源)	DC 12 ~ 24 V
電池タイプ	リチウムイオンバッテリー
バッテリー電圧範囲	3.5 ~ 4.1 V
無線周波数およびプロトコル	Wi-Fi : 2.4 GHz @ 15 dBm 定格 Bluetooth : 2.4 GHz @ 9 dBm 定格

デバイスを充電する

注：このクラス III 製品は LPS 電源により電源が供給されます。以下のいずれかの方法で、デバイスのバッテリーを充電することができます。

- デバイスを車両電源に接続します。
- コンセント電源アダプターなどのオプション電源アダプターアクセサリーにデバイスを接続します。

家庭用またはオフィス用に適した、承認済みの Garmin AC-DC アダプターを Garmin 販売店または www.garmin.com から購入できます。デバイスがサードパーティ製アダプタに接続されている場合、デバイスの充電に時間がかかる場合があります。

デバイスのメンテナンス

Garmin サポートセンター

製品マニュアル、よく寄せられる質問 (FAQ)、ビデオ、カスタマーサポートなどのヘルプや情報については、support.garmin.com を参照してください。

地図やソフトウェアの更新

最適なナビゲーションエクスペリエンスを得るには、デバイスの地図とソフトウェアを最新の状態に維持する必要があります。地図の更新により、デバイスは最新の地図データを保持できます。ソフトウェアの更新により、機能やパフォーマンスを向上できます。

2 つの方法を使用してデバイスを更新できます。

- デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続し、デバイス上で直接更新できます (推奨)。このオプションでは、デバイスをコンピュータに接続しないでタイミングよく更新できます。
- デバイスをコンピュータに接続し、Garmin Express アプリケーションを使用して更新できます。このオプションでは、更新された地図が内部ストレージに対して大きすぎる場合にメモリーカードにインストールできます。

Wi-Fi ネットワークへの接続

デバイスの電源を初めてオンにすると、Wi-Fi ネットワークに接続してデバイスを登録するように求められます。設定メニューを使用して、Wi-Fi ネットワークに接続することもできます。

- 1 **設定 > Wi-Fi**の順に選択します。
- 2 必要に応じて、**Wi-Fi** を選択して Wi-Fi 技術を有効にします。
- 3 **ネットワークを検索**を選択します。
デバイスで、近くの Wi-Fi ネットワークのリストが表示されます。

- 4 ネットワークを選択します。
- 5 必要に応じて、ネットワークのパスワードを入力し、OK を選択します。

デバイスがネットワークに接続し、ネットワークが保存済みネットワークのリストに追加されます。デバイスは、範囲内にあるときにこのネットワークに自動的に再接続します。

Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新

注記

地図やソフトウェアの更新では、デバイスで大きなファイルをダウンロードする必要がある場合があります。通常のデータ制限や料金インターネットサービスプロバイダから適用されます。データ制限や料金の詳細については、インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

インターネットへのアクセスを提供する Wi-Fi ネットワークにデバイスが接続することで、地図やソフトウェアを更新できます。これにより、デバイスをコンピュータに接続しないで最新の状態に保つことができます。

- 1 デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続します (**Wi-Fi ネットワークへの接続, 22 ページ**)。

Wi-Fi ネットワークに接続中に、デバイスは利用可能な更新がないかチェックします。更新を利用できる場合は、**更新**がメインメニューの設定アイコンに表示されます。

- 2 **設定 > 更新**の順に選択します。

デバイスは利用可能な更新がないかチェックします。更新が利用可能な場合は、**利用可能な更新**が地図またはソフトウェアの下に表示されます。

- 3 次の中からオプションを選択します。

- 利用可能なすべての更新をインストールするには、**すべてインストール**を選択します。
- 地図の更新のみをインストールするには、**地図 > すべてインストール**の順に選択します。
- ソフトウェアの更新のみをインストールするには、**ソフトウェア > すべてインストール**の順に選択します。

- 4 使用許諾契約を読み、**同意**を選択して使用許諾契約に同意します。

注：使用許諾契約に同意しない場合、拒否を選択できます。これにより、更新処理は停止します。使用許諾契約に同意するまで更新をインストールすることはできません。

- 5 付属の USB ケーブルを使用し、デバイスを外部電源に接続して、**継続**を選択します (**デバイスを充電する, 22 ページ**)。

最良の結果を得るには、パワー出力が 1 A 以上の USB 充電器をお勧めします。スマートフォン、タブレット、またはポータブルメディアデバイス用の多くの USB 電源アダプタと互換性があります。

- 6 更新処理が完了するまで、デバイスを外部電源に接続したままにして Wi-Fi ネットワークの範囲内に維持します。

ヒント：地図の更新が中断したり、完了する前にキャンセルされたりした場合、デバイスの地図データが失われることがあります。失われた地図データを修復するには、Wi-Fi または Garmin Express を使用して地図をもう一度更新する必要があります。

製品の更新

コンピュータで、Garmin Express (www.garmin.com/express) をインストールします。

これにより、Garmin デバイス向けのこれらのサービスに簡単にアクセスできます。

- ソフトウェアアップデート
- 地図の更新
- 製品登録

Garmin Express による地図とソフトウェアの更新

Garmin Express ソフトウェアを使用して、お使いのデバイスに対応した最新の地図やソフトウェアアップデートをダウンロード

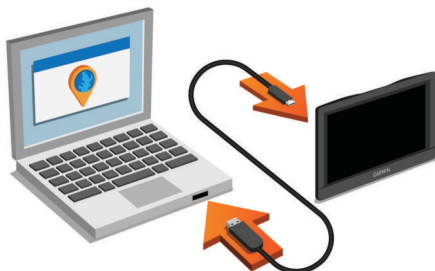
¹このデバイスは水深 1 m、30 分までの偶発的な水没に耐える防水性能を備えています。詳細については、www.garmin.com/waterrating を参照してください。

ドしてインストールできます。Garmin Express は、Windows® コンピュータおよび Mac® コンピュータで利用できます。

- 1 コンピュータから www.garmin.com/express にアクセスしてください。

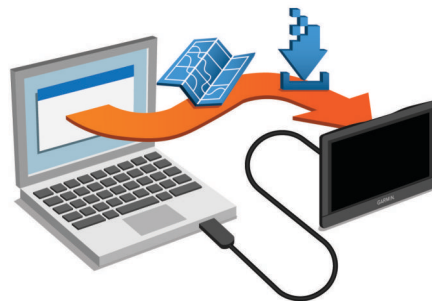


- 2 次の中からオプションを選択します。
 - Windows コンピュータにインストールするには、**ダウンロード (Windows)** を選択します。
 - Mac コンピュータにインストールするには、**ダウンロード (Mac)** を選択します。
- 3 ダウンロードファイルを開き、画面に表示される指示に従って、インストールを完了してください。
- 4 Garmin Express を開始します。
- 5 USB ケーブルを使用して、zūmo デバイスをコンピュータに接続します。



- 6 zūmo デバイスでファイル転送モードに移行するかどうかを尋ねるメッセージが表示されたら、**はい**を選択します。
- 7 コンピュータで、**デバイスの追加**をクリックします。Garmin Express ソフトウェアがデバイスを検出します。
- 8 **デバイスの追加**をクリックします。
- 9 画面に表示される指示に従って、デバイスを登録し、Garmin Express ソフトウェアに追加します。セットアップが完了すると、Garmin Express ソフトウェアはご使用のデバイスに対応した地図とソフトウェアの更新を検索します。
- 10 次の中からオプションを選択します。
 - 利用可能なすべての更新をインストールするには、**すべてインストール**をクリックします。
 - 1つの更新をインストールするには、**詳細の表示**をクリックして更新を選択します。

注： 地図の更新がデバイスの内部ストレージに対して大きすぎる場合は、ソフトウェアで、microSD デバイスにカードを挿入してストレージ領域を追加するように求めるメッセージが表示される場合があります (地図およびデータ用のメモリカードを挿入する, 25 ページ)。



Garmin Express ソフトウェアがデバイスに更新をダウンロードしてインストールします。地図の更新は非常に大きく、インターネットの接続速度が遅い場合、この処理には長時間かかる場合があります。

デバイスのお手入れ

注記

装置を落とさないようにしてください。

長時間高温に晒されるような場所に装置を保管しないでください。破損する可能性があります。

タッチスクリーンの操作に硬いものやとがったものは絶対に使用しないでください。スクリーンを傷つける恐れがあります。

外側ケースのクリーニング

注記

化学洗剤や溶媒は使用しないでください。プラスチック部品が損傷する可能性があります。

- 1 低刺激性の洗浄液で湿らせた布で、デバイスの外側ケース (タッチスクリーン以外) を拭きます。
- 2 デバイスの湿気を拭き取ります。

タッチスクリーンのクリーニング

- 1 柔らかく、清潔で糸くずの出ない布を使用します。
- 2 必要に応じて、布を軽く湿らせます。
- 3 湿らせた布を使用する場合は、デバイスの電源をオフにして、デバイスを電源から切り離します。
- 4 力を入れずに画面を布で拭きます。

盗難防止

- 使用しないときは、デバイスおよびマウントを見えるところから取り外してください。
- 吸着カップによって付いたフロントガラス上の汚れを取り除いてください。
- ユニットをダッシュボードのグローブボックスに入れておかないでください。
- Garmin Express ソフトウェアを使用してデバイスを登録します (garmin.com/express) 。

デバイスをリセットする

デバイスが動作を停止した場合は、リセットできます。

電源キーを 12 秒間押し続けます。

デバイス、マウント、吸着カップを取り外す

マウントからデバイスを取り外す

- 1 マウントのつまみまたはボタンを押してすぐに離します。
- 2 デバイスの下面を上に向けて、デバイスをマウントから持ち上げます。

吸着カップからマウントを取り外す

- 1 デバイスのマウントを右または左に回転させます。
- 2 マウントのソケットから吸着カップのボールが外れるまで力を掛けます。

フロントガラスから吸着カップを取り外す

- 1 吸着カップのレバーを自分の方に倒します。
- 2 吸着カップのつまみを自分の方に引きます。

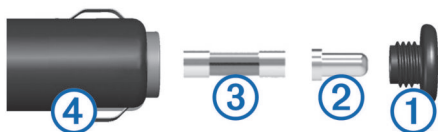
車両電源ケーブルのヒューズを交換する

注記

ヒューズを交換する場合は、小さな部品をすべてなくさないようにし、それらを正しい場所に戻してください。車両電源ケーブルを誤って取り付けると、動作しません。

車両からデバイスに充電できない場合は、車両用アダプターの先端にあるヒューズの交換が必要な場合があります。

- 1 先端①を反時計回りに回して、ロック解除します。



ヒント：先端部の取り外しには、硬貨を使用する必要がある場合があります。

- 2 先端部、銀色のチップ②、およびヒューズ③を取り外します。
- 3 1 A または 2 A など、同じ電流の新しい速断ヒューズを挿入します。
- 4 銀色のチップを先端部にはめます。
- 5 先端を押し込み、時計回りに回して、車両電源ケーブル④にロックします。

トラブルシューティング

吸盤がフロントガラスに取り付けられない

- 1 吸盤とフロントガラスを消毒用アルコールで拭き取ります。
- 2 乾燥した清潔な布で乾かします。
- 3 吸盤を取り付けます (自動車にデバイスを取り付ける, 2 ページ)。

デバイスで衛星信号を受信できない

- GPS シミュレーターがオフになっていることを確認します (ナビゲーション設定, 20 ページ)。
- 駐車場からデバイスを持ち出して、高層ビルや樹木から離してください。
- 数分間静止したままにします。

デバイスを車両で充電できない

- 車両電源ケーブルのヒューズを点検します (車両電源ケーブルのヒューズを交換する, 24 ページ)。
- 車両のイグニッションがオンになっており、電源コンセントに電気が流れていることを確認します。
- 車内温度が仕様で指定されている充電温度範囲内であることを確認します。
- 車両の電源コンセントのヒューズが切れていないことを確認します。

充電しても電池の電力が長持ちしない

- 画面の輝度を下げます (ディスプレイ設定, 21 ページ)。
- ディスプレイのタイムアウトを短くします (ディスプレイ設定, 21 ページ)。
- 音量を下げます (音量を調整する, 3 ページ)。
- 使用しないときは、Wi-Fi 無線をオフにします (Wi-Fi 設定, 21 ページ)。
- 使用しないときは、デバイスを省電力モードにします (デバイスの電源をオンまたはオフにする, 3 ページ)。

- デバイスを高温になる場所に保管しないでください。
- デバイスは直射日光の当たるところに放置しないでください。

デバイスが電話または Smartphone Link に接続されません

- 設定 > Bluetooth の順に選択します。
[Bluetooth] オプションを有効にする必要があります。
- 電話で Bluetooth 無線技術を有効にし、デバイスから 10m (33 ft.) 以内の範囲に電話を持ってきます。
- スマートフォンで、Smartphone Link アプリを開き、[■ > ▶] を選択して Smartphone Link バックグラウンドサービスを再起動します。
- お使いの電話が対応していることを確認します。
詳細については、www.garmin.com/bluetooth を参照してください。
- ペ어링プロセスを再度完了します。
ペ어링プロセスを繰り返すには、電話とデバイスのペ어링を解除して (Bluetooth デバイスの取り外し, 16 ページ)、ペ어링プロセスを完了する必要があります (電話とのペ어링と Smartphone Link への接続を行う, 13 ページ)。

使用しているデバイスが、コンピュータのリムーバブルデバイスとして表示されません

大半のコンピュータでは、デバイスは Media Transfer Protocol (MTP) を使用して接続されます。MTP モードでは、デバイスはリムーバブルドライブではなく、ポータブルデバイスとして表示されます。

使用しているデバイスが、コンピュータのポータブルデバイスとして表示されません

Mac コンピュータや、一部の Windows コンピュータでは、デバイスは USB 大容量記憶装置モードを使用して接続されます。USB 大容量記憶装置モードでは、このデバイスは、ポータブルデバイスではなく、リムーバブルドライブまたはボリュームとして表示されます。Windows のうち、Windows XP Service Pack 3 より前のバージョンでは、USB 大容量記憶装置モードを使用します。

使用しているデバイスは、コンピュータのポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、ボリュームのいずれとしても表示されません

- 1 コンピュータから USB ケーブルを取り外します。
- 2 デバイスの電源をオフにします。
- 3 USB ケーブルをデバイスおよびコンピュータの USB ポートに接続してください。

ヒント：USB ケーブルは、USB ハブではなく、コンピューターの USB ポートに接続する必要があります。

デバイスが自動的にオンになり、MTP モード、または USB 大容量記憶装置モードになります。コンピュータとデバイスが接続されている画像が、デバイス画面に表示されます。

注：お使いのコンピュータで複数のネットワークドライブがマッピングされている場合、Windows が Garmin ドライブにドライブレターを割り当てる際に不具合が生じている可能性があります。ドライブレター割り当てについての詳細は、オペレーティングシステムのヘルプファイルを参照してください。

Smartphone Link アプリは、スマートフォンのバッテリー充電レベルに影響を及ぼします。

Smartphone Link アプリは、Bluetooth 無線技術を使用して、デバイスとデータを送受信します。アクティブな Bluetooth 接続がバッテリー電力をいくらか消費するのは正常です。このアプ

りは、利用可能なサービスの更新がないか定期的にチェックするので、バッテリー電力を追加で消費することがあります。

Smartphone Link アプリでバッテリー使用量の設定を変更して、アプリが使用するバッテリー電力の量を減らすことができます。

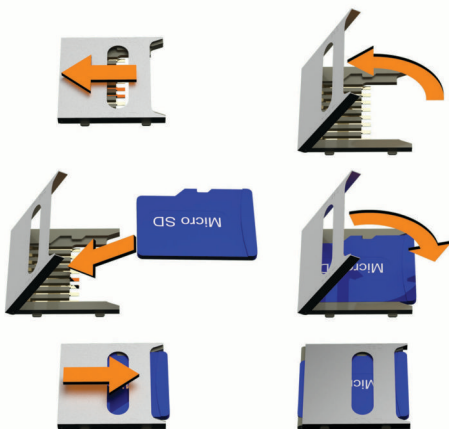
- 1 スマートフォンの Smartphone Link アプリで、[] を選択します。
- 2 **Battery Usage** セクションまでスクロールし、**Settings** を選択します。
- 3 オプションを選択します (複数可)。
 - **Bluetooth Auto-Connect** チェックボックスをオフにします。
このオプションを無効にすると、バッテリー電力を少量節約できますが、アプリは zūmo デバイスに自動的に接続できなくなります。このオプションが無効になっている場合は、デバイスを Smartphone Link に接続するために Smartphone Link メインメニューから  を選択する必要があります。
 - **Live Services Check** チェックボックスをオフにします。一部のスマートフォンでは、このオプションを無効にすると、アプリで使用されるバッテリー電力を大幅に減らすことができます。このオプションが無効の場合は、Smartphone Link メインメニューを手動で更新して、利用できるライブサービスに関する更新情報を受信する必要があります。

付録

地図およびデータ用のメモリーカードを挿入する

メモリーカードを挿入して、デバイスの地図やその他のデータの記憶容量を増やすことができます。メモリーカードを家電量販店から購入するか、www.garmin.com/maps にアクセスして Garmin 地図ソフトウェアがあらかじめロードされているメモリーカードを購入できます。このデバイスは、4~64 GB の microSD メモリーカードに対応しています。

- 1 デバイスの地図およびデータメモリーカードスロットの場所を確認します ([デバイスの概要](#), 3 ページ)。
- 2 microSD カードスロットからウェザーキャップを引き上げます。
- 3 microSD カードスロットカバーをデバイスの中央に向かってスライドさせます。



- 4 microSD カードスロットカバーを引き上げます。
- 5 microSD カードをスロットに挿入します。
注：microSD カードがカードスロットの接点にぴったり合っていることを確認します。
- 6 SD カードカバーを閉じます。
- 7 SD カードカバーをカチッと音がするまでデバイスの外側に向けてスライドさせます。

データ管理

ファイルをデバイスに保存できます。デバイスには、データストレージを追加できるメモリーカードスロットがあります。

注：このデバイスは、Windows 95、98、Me、Windows NT®、および Mac OS 10.3 以下には対応していません。

メモリーカードについて

家電販売店からメモリーカードを購入したり、あらかじめロードされている Garmin 地図ソフトウェア (www.garmin.com) を購入できます。地図やデータの記録に加え、メモリーカードを使用して、地図、イメージ、ジオキャッシュ、ルート、ウェイポイント、およびカスタム POI などのファイルを保存できます。

デバイスをコンピュータに接続する

USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続できます。

- 1 USB ケーブルの小さい方の端をデバイスのポートに接続します。
- 2 USB ケーブルの大きい方の端をコンピュータのポートに接続します。
- 3 zūmo デバイスでファイル転送モードに移行するかどうかを尋ねるメッセージが表示されたら、**はい**を選択します。

コンピュータとデバイスが接続されている画像が、デバイス画面に表示されます。

コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。

コンピュータからデータを転送する

- 1 デバイスをコンピュータに接続します ([デバイスをコンピュータに接続する](#), 25 ページ)。
コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。
- 2 コンピュータで、ファイルブラウザを開きます。
- 3 ファイルを選択します。
- 4 [**編集**] > [**コピー**] の順に選択します。
- 5 デバイス上のフォルダを参照します。
注：リムーバブルドライブまたはボリュームの場合、Garmin フォルダにファイルを入れないでください。
- 6 [**編集**] > [**貼り付け**] の順に選択します。

USB ケーブルを取り外す

デバイスがリムーバブルドライブまたはボリュームとしてコンピュータに接続されている場合、データの損失を避けるため、デバイスをコンピュータから安全に取り外す必要があります。デバイスがポータブルデバイスとして Windows コンピュータに接続されている場合は、安全に取り外す必要はありません。

- 1 次の手順を実行します。
 - Windows コンピュータの場合、システムトレイの [**ハードウェアの安全な取り外し**] アイコンを選択し、デバイスを選択します。
 - Mac コンピュータの場合は、ボリュームアイコンをごみ箱にドラッグします。
- 2 コンピュータからケーブルを取り外します。

GPS 信号ステータスを表示する

 を 3 秒間押し続けます。

追加の地図を購入する

- 1 garmin.com のデバイス製品ページにアクセスします。
- 2 [**マップ**] タブをクリックします。
- 3 画面に表示される指示に従います。

アクセサリーを購入する

garmin.com/accessories にアクセスします。

索引

記号

トラフィックカメラ, 表示 20
2D 地図表示 13
3D 地図表示 13

A

アイコン, ステータスバー 3
赤信号カメラ 4
アクセサリ 26
アクティブ車線案内 6
アラート
 近接ポイント 21
 オーディオ 21

B

場所 9
場所を検索する 9
バッテリー
 充電 22, 24
 問題 24
 最大化 24
Bluetooth 21

C

地図 5, 11, 12, 20
 データフィールド 5, 12, 13
 記号 5
 購入 25
 更新 22
 ルートを表示する 5, 6
 詳細度 20
 テーマ 20
 ツール 11, 12
 レイヤー 12
地図表示
 2D 13
 3D 13

D

デバイスのクリーニング 23
デバイスのお手入れ 23
デバイスの取り付け
 自動二輪 1
 自動車 2
 吸着カップ 24
 マウントから取り外す 2, 23
デバイスを充電する 22, 24
電源ケーブル 22
 ヒューズ交換 24
電源キー 3
電話
 ペアリング 13, 24
 取り外し 16
電話に应答する 15
電話をかける 14, 15
 電話に应答する 15
 自宅 15
 かける 15
 ダイヤルする 15
 履歴 15
 連絡先 15
ディスプレイ設定 21
道路状況, 天気 19

E

衛星信号
 捕捉 3
 表示 25
EULA 21

F

ファイル, 転送する 25
Foursquare 10

G

Garmin Connect 13
Garmin Express, ソフトウェアを更新する 22
ガソリン残量アラーム 8

言語

キーボード 21
音声 21
[現在地の確認] 11
Bluetooth 技術 13
 デバイスの取り外し 16
 電話とのペアリング 13
 ヘッドセットのペアリング 13
Bluetooth 技術 13, 14, 24
 電話の管理 15, 16
 電話とのペアリング 13
 通話の無効化 15, 16
技術, 設定 21
GPS 3, 25

H

ハンズフリー通話 13, 15, 16
ヘッドセット, ペアリング 13
編集, 保存されたトリップ 17
ヘルメットに関する法律 5
方向 6
方向転換地点 5
保存した位置 17
 編集 11
 カテゴリ 11
 削除 11
保存する
 位置 18
 現在地 11
ヒューズ, 交換 24

I

位置 9, 10, 20
場所 9
保存する 11
最近検索した 10
シミュレート 21
検索対象 8, 10
現在 10, 11
電話をかける 15
位置を検索する. 8, 10, 14 関連項目 位置
住所 10
交差点 10
都市 10
カテゴリ 8
座標 10
ID 番号 21

J

ジャンル別施設 (POI) 8-10
場所 9
モーターサイクルマウント, ケーブル 1
自動二輪マウント 1
時間設定 21
事故の連絡先 4
事故通知 4, 5
自宅
 電話をかける 15
 位置を編集する 5
 移動 5
 電話番号 15
住所, 検索する 10

K

回避
 道路機能 7
 道路 7
 エリア 7
 料金 7
 削除 7
 無効 7
カメラ
 赤信号 4
 スピード 4
ケーブル, モーターサイクルマウント 1
検索バー 8
検索エリアを変更する 9
キーボード
 言語 21
 レイアウト 21
緊急時サービス 10

帰宅する 5
この先 12
 カスタマイズ 12
コンパス 19
コンピュータ, 接続 24, 25
交差点, 検索する 10
更新
 地図 22
 ソフトウェア 22
クイックサーチ 8
共有する, LiveTrack 18
共有 18
吸着カップ 24

L

LiveTrack 18

M

マニュアル 17
マウント, 削除 23
マウントを取り外す 23
メディアプレーヤー 19
メディアプレーヤー 18
メモリーカード 3, 25
 挿入する 25
microSD カード 3, 25
目的地 20. 参照項目 位置
 到着 6
myTrends, ルート 7

N

ナビゲーション 5, 6, 9
 設定 20
 直行ルート 7
燃料
 ガソリンスタンド 10
 トラッキング 8

O

音量, 調節 3
オンスクリーンボタン 3
オーディオ, 近接ポイント 21

P

ペアリング
 電話 13, 24
 ヘッドセット 13
 取り外し 16
photoLive 20

R

Garmin ライブサービス 13
 サービスに申し込む 13
リセットする
 デバイス 23
 トリップデータ 12
ルート 5, 19
 アドベンチャールート 5
 地図上に表示する 5, 6
 開始 5, 9
 計算 5
 計算モード 5, 17, 20
 形成する 6
 候補 7
 myTrends 7
 ポイントを追加する 6, 18
 停止する 7
ルート情報 6
ルートを形成する 6
料金, 回避する 7

S

サブスクリプション, Garmin ライブサービス 13
最近検索した場所 10
削除
 ペアリング Bluetooth デバイス 16
 トリップ 17
製品のサポート 17
接続 22
設定 20, 21

- シヨートカット
 - 削除 11
 - 追加 11
- シミュレートされた場所 21
- 仕様 22
- Smartphone Link 13–16
 - 接続 13, 15, 16
 - 通話の無効化 15, 16
- ソフトウェア
 - バージョン 21
 - 更新 22
- 走行履歴 21
- スクリーンショット 21
- スピードカメラ 4
- スリープモード 3

T

- タッチスクリーンのクリーニング 23
- 天気 19
 - 道路状況 19
 - レーダー 19
- トラブルシューティング 24
- トラフィック 12, 16, 17, 21
 - 代替ルート 7
 - カメラ 20
 - レシーバー 16
 - サブスクリプションの追加 17
 - 事故 12, 17
 - 地図 12, 17
 - 遅延の検索 12, 17
- トラック 18
- 取り外し, Bluetooth デバイス 16
- トリップ情報 12
 - 表示 12
 - リセットする 12
- トリッププランナー 17, 18
 - シェイピングポイント 17
 - トリップを編集する 17
- 盗難, 回避する 23
- TracBack 19
- トラックバック 19
- TripAdvisor 10
- ツール, 地図 11, 12
- 通話 14
 - ダイヤルする 15
 - 電話に応答する 15
 - ミュート操作 15
 - 音声ダイヤル 15
- 通知 5, 13–16

U

- 迂回路 7
- 運転方向 6
- 運転者アラート 4
- USB, 取り外し 25

W

- Wi-Fi 21, 22

Y

- ユニット ID 21

し

- ジオキャッシング 10

た

- ダイヤルする 15

